

泉南市自転車活用推進計画

令和 3 年（2021 年） 3 月



目 次

1 はじめに	1
1-1 計画策定の背景と目的	1
1-2 計画の位置付け	1
1-3 計画の対象区域	3
1-4 計画の期間	3
2 泉南市の現状	4
2-1 暮らしの状況	4
2-2 交通・移動の状況	6
2-3 健康の状況	12
2-4 観光の状況	14
2-5 現状のまとめ	16
3 泉南市が目指すべきまちの姿	17
3-1 上位計画	17
3-2 関連計画	18
3-3 自転車分野から目指すべきまちの姿	23
4 自転車を活用したまちづくりの目標	24
4-1 自転車の有効性	24
4-2 自転車を活用したまちづくりの目標	29
5 目標に対する実態の分析	30
5-1 市民の自転車利用の実態	30
5-2 観光振興に対する関係者意見・関連施策動向	36
5-3 自転車の利用実態のまとめ	37
6 自転車活用推進に向けた課題と取組	38
6-1 自転車活用推進に向けた課題	38
6-2 自転車を活用したまちづくりの取組	39
6-3 自転車ネットワーク	41
6-4 各施策の内容	46
7 取組の進め方	65
7-1 計画の進捗管理・評価	65
7-2 計画の指標	66

1 はじめに

1-1 計画策定の背景と目的

自転車は身近な移動手段として、通勤・通学、買い物、サイクリング・レジャー等、様々な場面で利用されています。また、環境にやさしく、サイクリングを通じた健康づくりや余暇の充実、人々の行動を広げ、地域とのふれあい、仲間とのつながりを取り持つコミュニケーションツールとしても注目されています。

これらの自転車の特性を活かし、環境負荷の低減、災害時における交通機能の維持、健康増進等の新たな課題に対して、積極的に自転車を活用していくことを基本理念とした「自転車活用推進法」が平成 29 年（2017 年）に施行されました。また、自転車の活用の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、平成 30 年（2018 年）には「自転車活用推進計画」が、令和元年（2019 年）には「大阪府自転車活用推進計画」が策定されています。

本市においても、きめ細かい地域内交通の不足や環境・健康面での課題解決に加え、関西国際空港・SENNAN LONG PARK（泉南りんくう公園）等を中心とした市域の観光活性化を図ることを見据え、自転車を利用しやすい安全で快適な環境を創出していく必要があります。

以上を踏まえ、泉南市が抱える課題解決に向けて、自転車活用推進に関する目標や目標達成のために実施すべき施策・措置等を取りまとめた「泉南市自転車活用推進計画」を策定するものです。

1-2 計画の位置付け

本計画は、自転車の活用の推進に係る「自転車活用推進計画」及び「大阪府自転車活用推進計画」、上位計画である「第 5 次泉南市総合計画」に基づきつつ、まちづくりや健康・福祉等の分野における各種計画と連携・整合させながら、泉南市における自転車の活用推進のあり方や取組を具体化・共有化するものです。

また、本計画に基づき自転車の活用を推進することで、人口減少や高齢化に対応したコンパクトなまちづくり、CO₂ の削減、市民の健康増進などへ寄与することから、政府が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献することが期待されます。

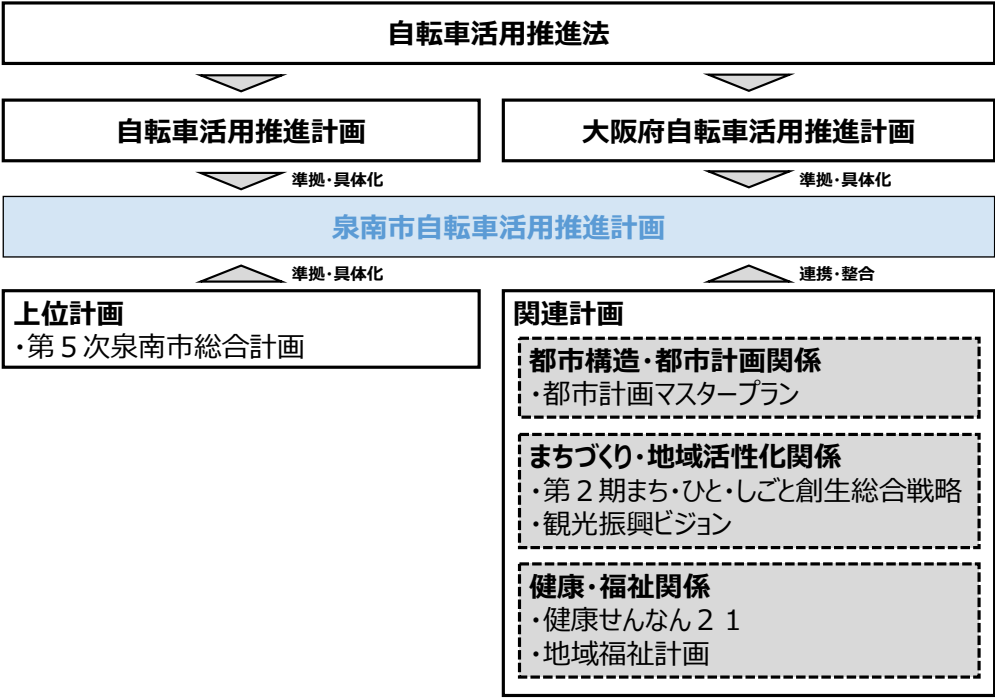


図 1-1 計画の位置付け

持続可能な開発目標（SDGs）

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、平成27年（2015年）9月に国連サミットで採択された「2030年までの国際開発目標」です。



図 1-2 持続可能な開発目標（SDGs）

1-3 計画の対象区域

本計画の対象区域は泉南市全域（関西国際空港を除く）とします。

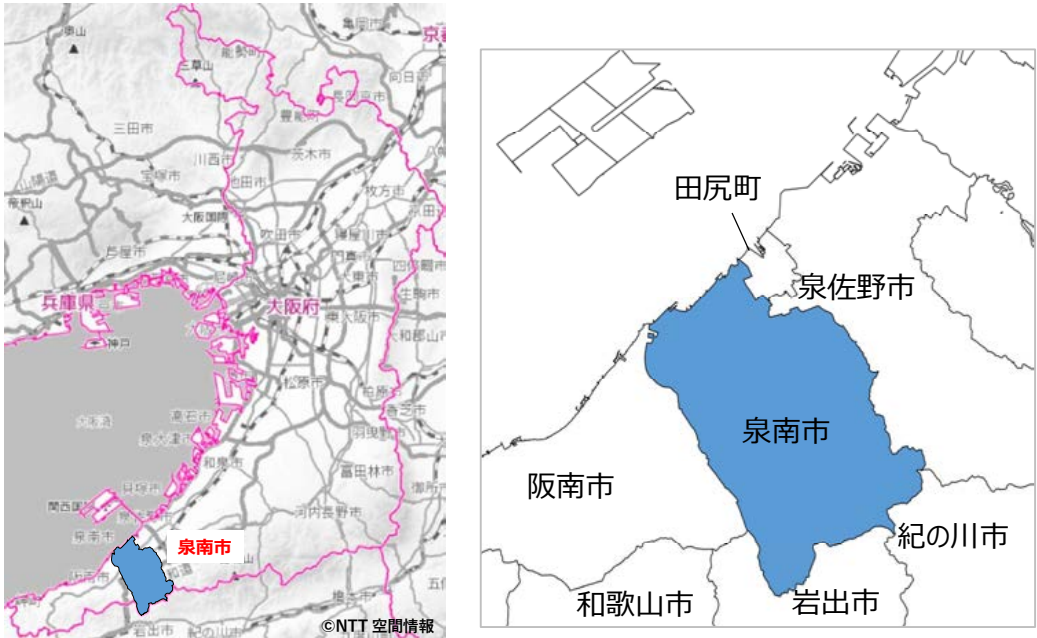


図 1-3 計画区域

1-4 計画の期間

本計画の計画期間は令和 2 年度（2020 年度）から令和 7 年度（2025 年度）とします。

表 1-1 計画期間

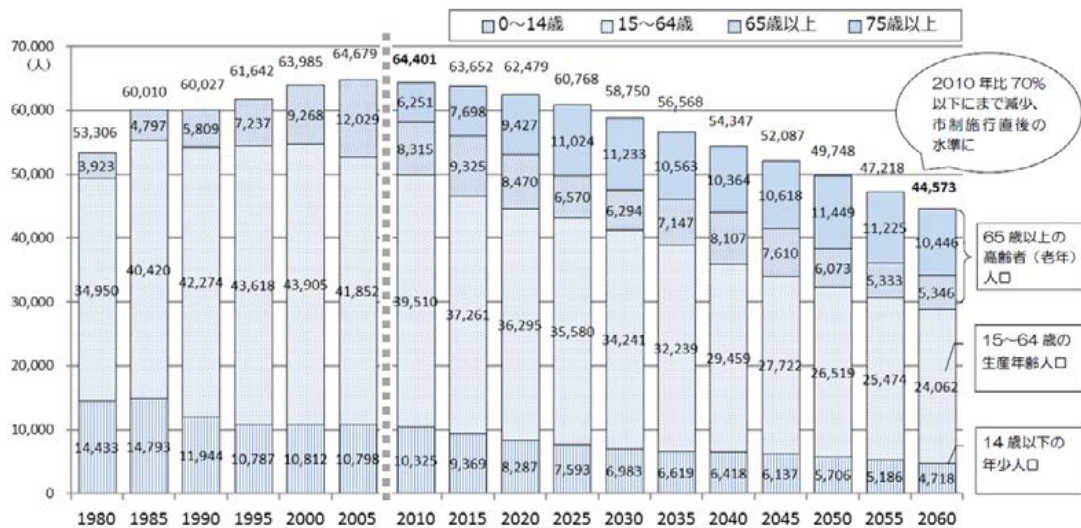
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
自転車活用推進計画						←	→	←	→	→	→	→	→
大阪府自転車活用推進計画							←	→	→	→	→	→	→
第 5 次泉南市総合計画	←	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
泉南市自転車活用推進計画								←	→	→	→	→	→

2 泉南市の現状

2-1 暮らしの状況

（1）人口及び年齢構成の状況

- ・ 2006 年をピークに人口が減少し、高齢化率が約 30%弱となっています。
- ・ 2040 年には人口がピーク時の 8 割強まで減少し、高齢化率は 35%程度まで上昇する見込みです。

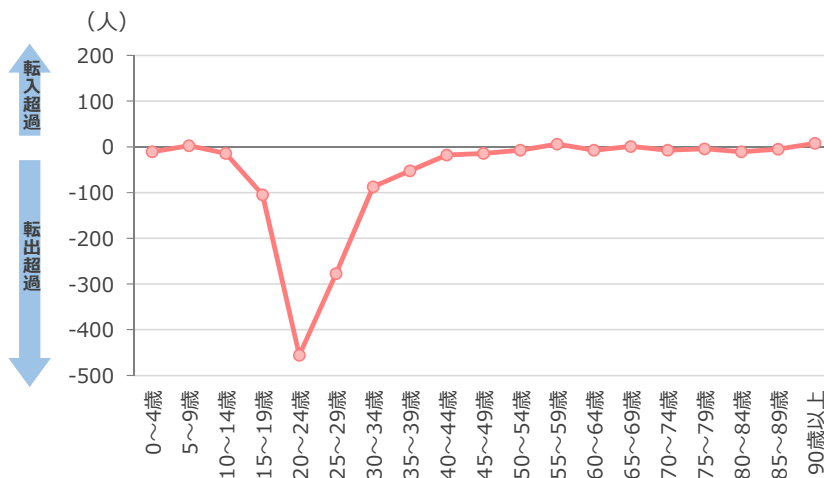


出典：泉南市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

図 2-1 人口及び年齢構成の推移

（2）転出及び転入の状況

- ・ 大学への進学や就職に伴い、10 代後半から 20 代の転出が多くなっています。



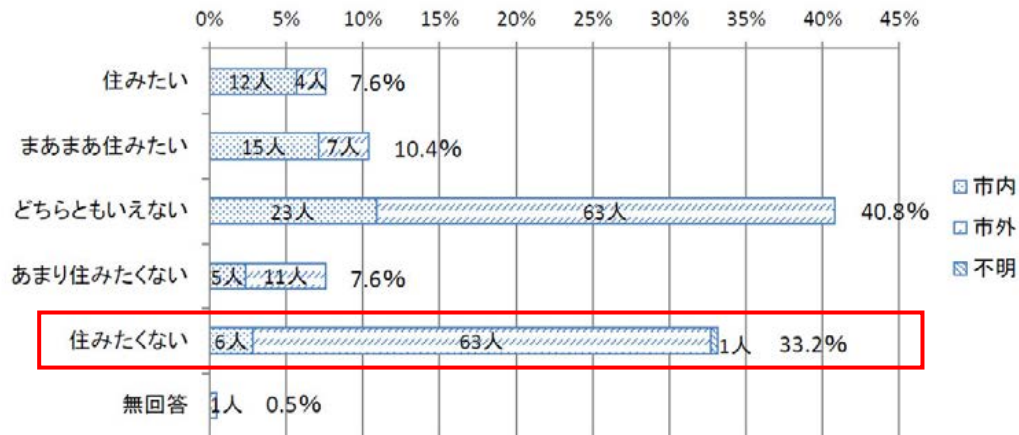
出典：住民基本台帳人口移動報告（H30）

図 2-2 転出及び転入の状況

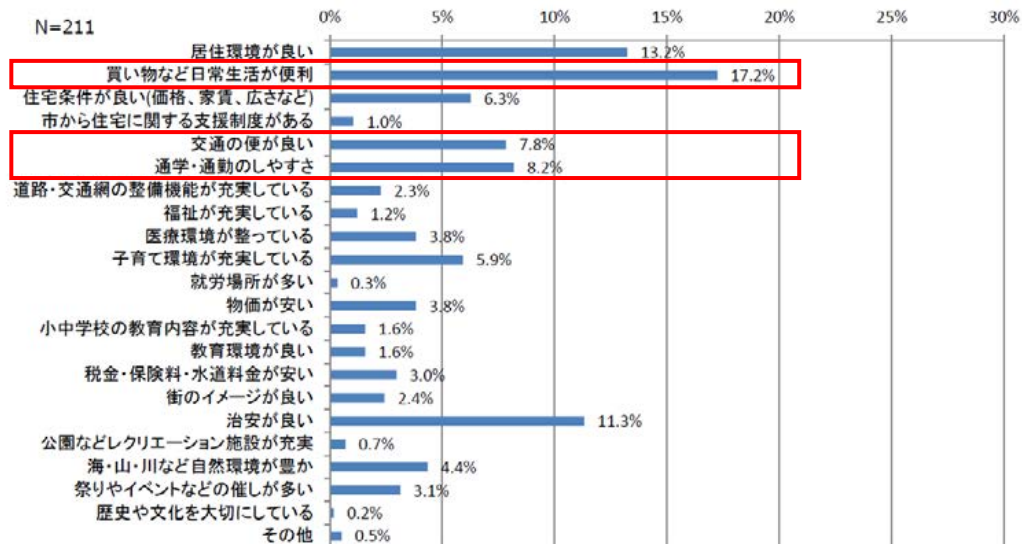
（３）定住の意向

- ・ 高校生は、将来的に泉南市に住みたくないと考えている学生の割合が多くなっています。
- ・ 住みたいまちには、買い物や通勤・通学のしやすさ、交通の便の良さなどが求められています。

＜将来泉南市に住みたいか＞



＜住みたいと思うまちに必要なもの＞



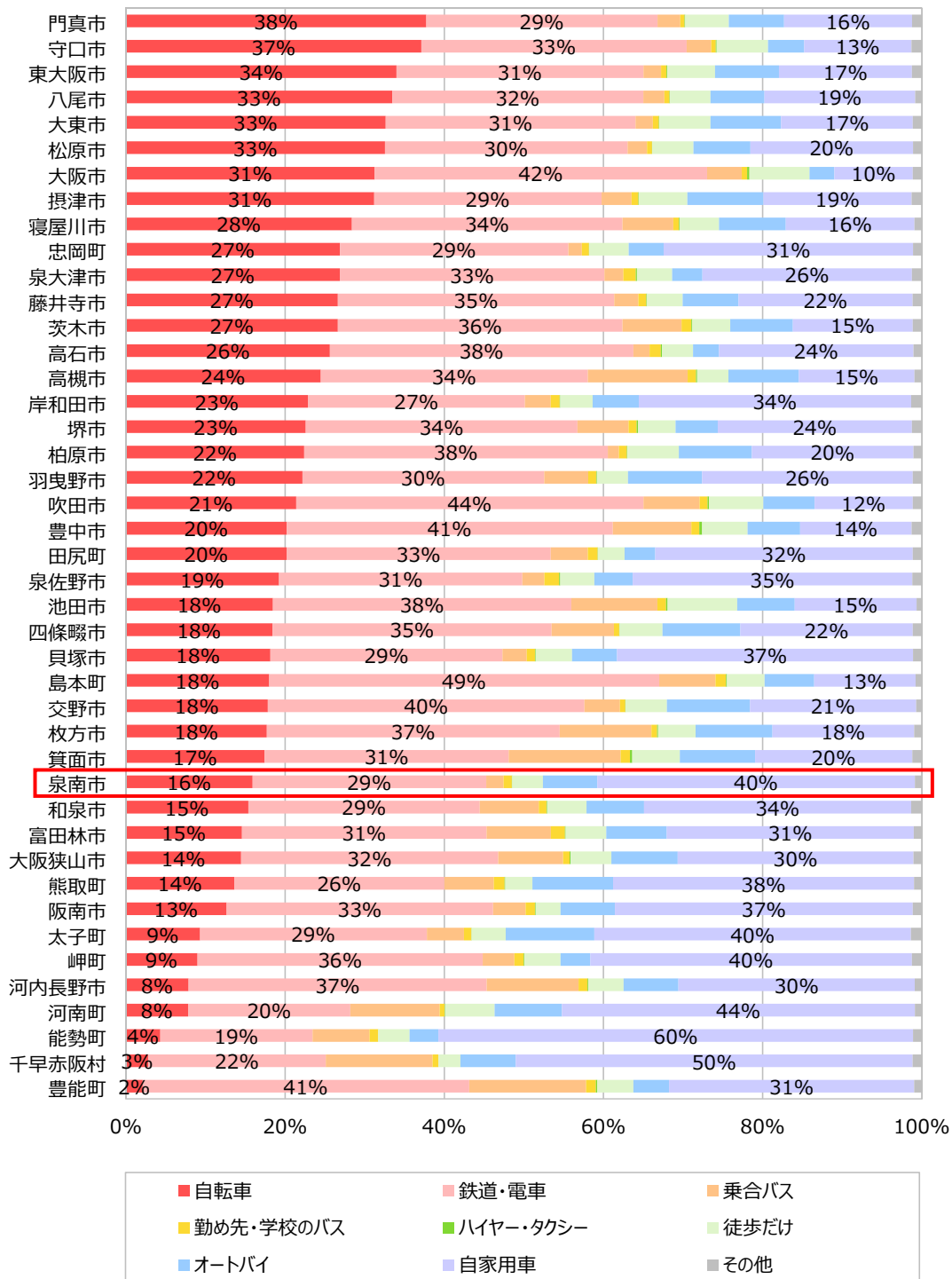
出典：第1期泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略

図 2-3 高校生の定住に対する考え

2-2 交通・移動の状況

（１）交通手段分担率

- ・自家用車の利用が多く、自転車や鉄道の利用率は府内の他市町村に比べて小さくなっています。



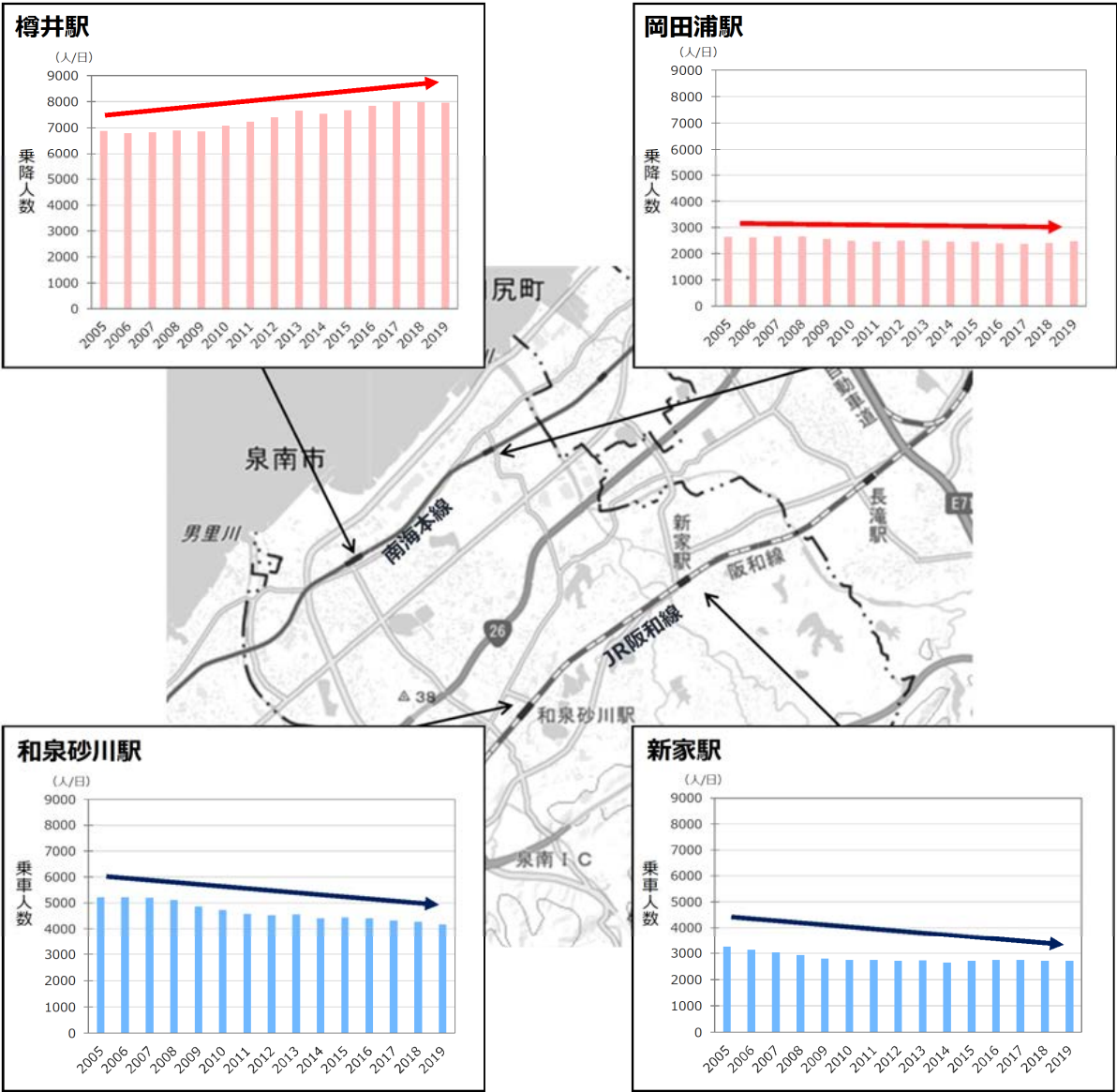
出典：国勢調査（H27）

図 2-4 交通手段分担率

（2）公共交通の利用状況

1）鉄道の利用状況

- ・ 泉南市には南海本線と JR 阪和線が通り、4 駅が立地しています。
- ・ 樽井駅では利用者数が増加していますが、それ以外では減少傾向となっています。



※樽井駅及び岡田浦駅は乗降人数、和泉砂川駅及び新家駅は乗車人数で整理

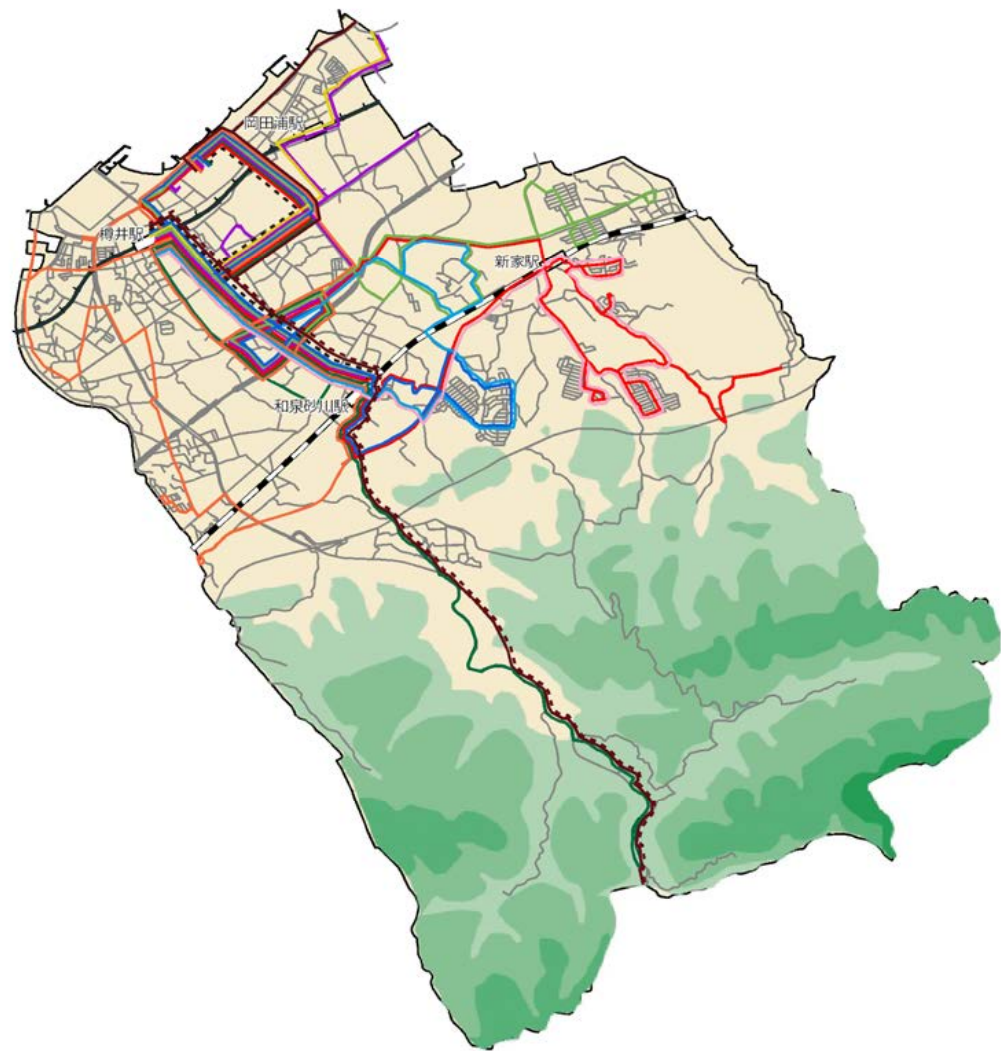
出典：泉南市統計書、NTT 空間情報

資料：南海電気鉄道（株）、西日本旅客鉄道（株）

図 2-5 鉄道駅の利用者数推移

2) バスの利用状況

- ・ 地域内には、南海ウイングバス南部、和歌山バス那賀、さわやかバス（コミュニティバス）が運行しています。
- ・ 運行範囲・便数は限られており、利用が限定されています。



凡 例	
南海ウイングバス南部	 イオン砂川線
和歌山バス那賀	—— 岩出りんくう線 岩出樽井線
さわやかバス (泉南市コミュニティバス)	—— 朝・新家回り —— 岡田A・B回り
	—— 朝・一丘回り —— 砂川A・B回り
	—— 朝・西信回り —— 南A・B回り
	—— 新家A・B回り —— 山回り
	—— 一丘A・B回り

(R3.1月時点)

図 2-6 バス路線

表 2-1 南海ウイングバス南部の時刻表

路線	始発停留所	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便
イオン砂川線	砂川駅前	8:40	9:10	10:10	11:35	13:35	14:35	15:35

※土休日のみ運行

出典：南海ウイングバス南部 HP（R3.1月時点）

表 2-2 和歌山バス那賀の時刻表

路線	始発停留所		第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便
岩出樽井線	樽井駅前	平日	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便
			6:35	7:40 近	8:10 近	8:25 近	10:00 近	10:30	11:15
			第8便	第9便	第10便	第11便	第12便	第13便	第14便
			12:15 近	13:15	14:45	16:00	17:10	17:45	18:25
		土休日	第15便	第16便	第17便				
			19:10	19:50	21:35				
			第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便
			7:20	8:20 近	10:00 近	10:50	12:25 近	13:30	15:15
			第8便	第9便	第10便	第11便	第12便		
			16:30	17:15	19:05	20:05	20:50		
岩出 りんくう線	りんくう タウン駅前 (泉佐野市)	平日	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便		
			9:10	11:20	16:10	20:05	20:40		
		土休日	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便		
			13:05	14:50	16:05	18:40	19:40		

※ 近：近畿大学経由

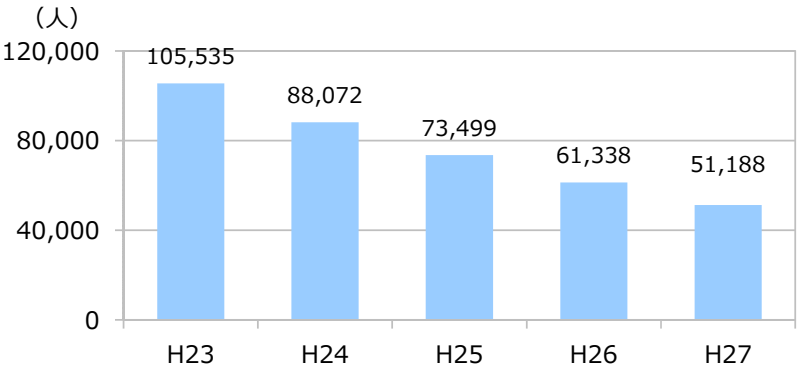
出典：和歌山バス HP（R3.1月時点）

表 2-3 さわやかバス（コミュニティバス）の時刻表

路線	始発停留所	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便
朝・新家回り	JR 新家駅前	7:00	7:30	8:00	—	—
朝・一丘回り	砂川駅前	7:00	7:35	8:10	—	—
朝・西信回り	吉見岡田住宅	7:00	—	—	—	—
新家A・B回り	樽井駅前	9:59 (A)	11:34 (B)	13:00 (A)	16:00 (B)	17:45 (A)
一丘A・B回り	樽井駅前	8:57 (A)	10:20 (B)	11:40 (A)	14:35 (B)	16:40 (A)
岡田A・B回り	樽井駅前	9:07 (A)	10:45 (B)	13:46 (A)	16:16 (B)	—
砂川A・B回り	樽井駅前	10:15 (A)	11:45 (B)	13:15 (A)	14:40 (B)	18:00 (A)
南A・B回り	樽井駅前	8:34 (A)	12:13 (B)	15:37 (A)	17:05 (B)	—
山回り	樽井駅前	7:26	9:00	13:45	14:56	17:30

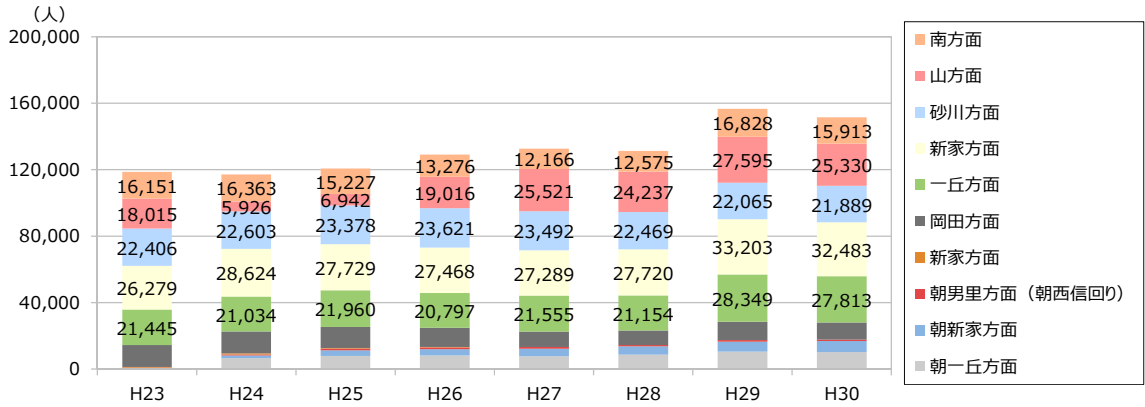
※原則として毎日運行（但し、12月29日から1月3日及び秋の祭礼時を除く）

（R3.1月時点）



出典：泉南市統計書

図 2-7 南海ウイングバス南部の利用者数推移

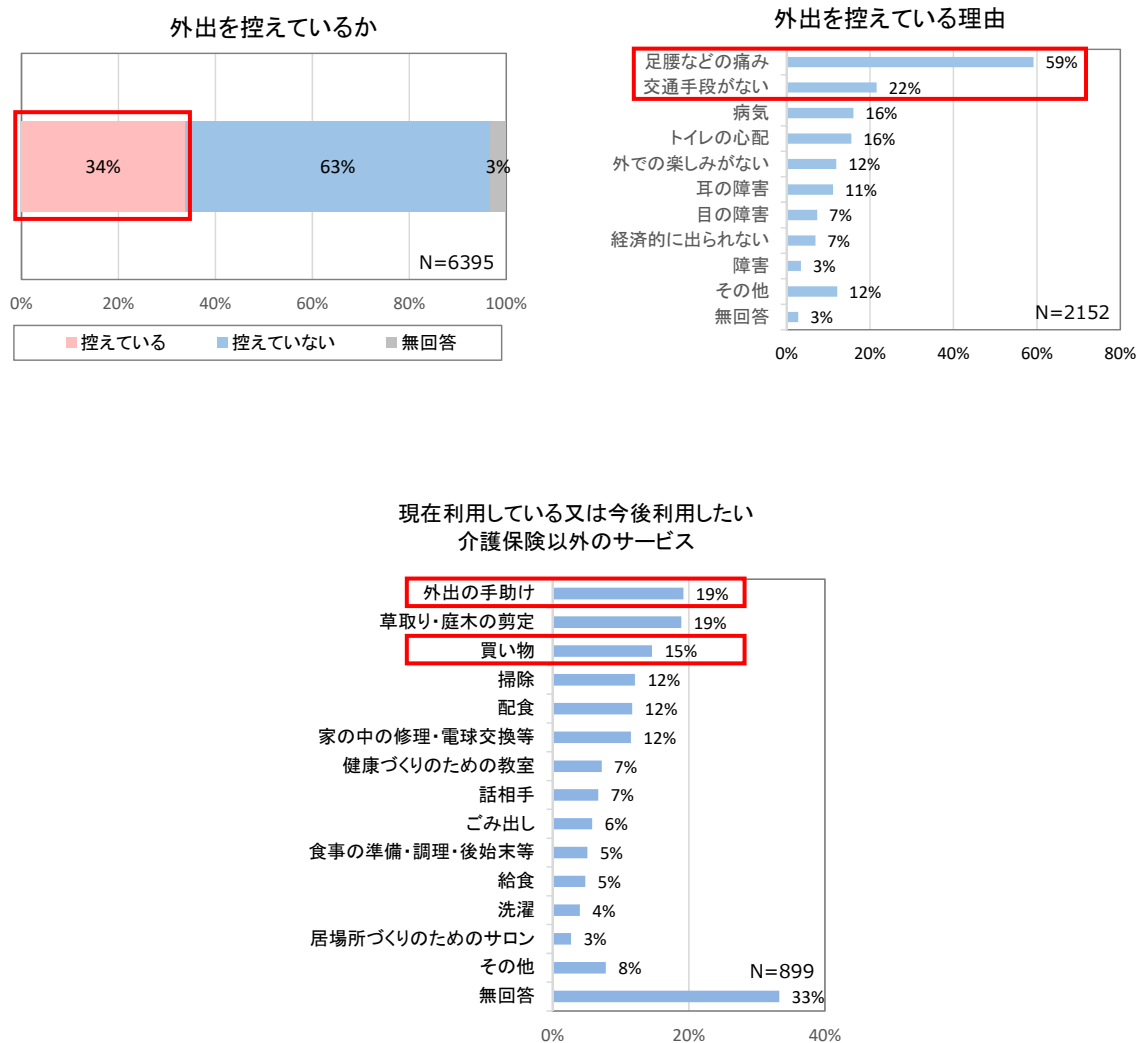


出典：泉南市統計書

図 2-8 さわやかバス（コミュニティバス）の利用者推移

（3）高齢者の外出状況

- ・ 交通手段がないことや足腰の状態から、外出を控えている高齢者が 3 割程度存在しています。
- ・ 買物や外出の手助けに関するニーズが高くなっています。



出典：泉南市第7期地域包括ケア計画

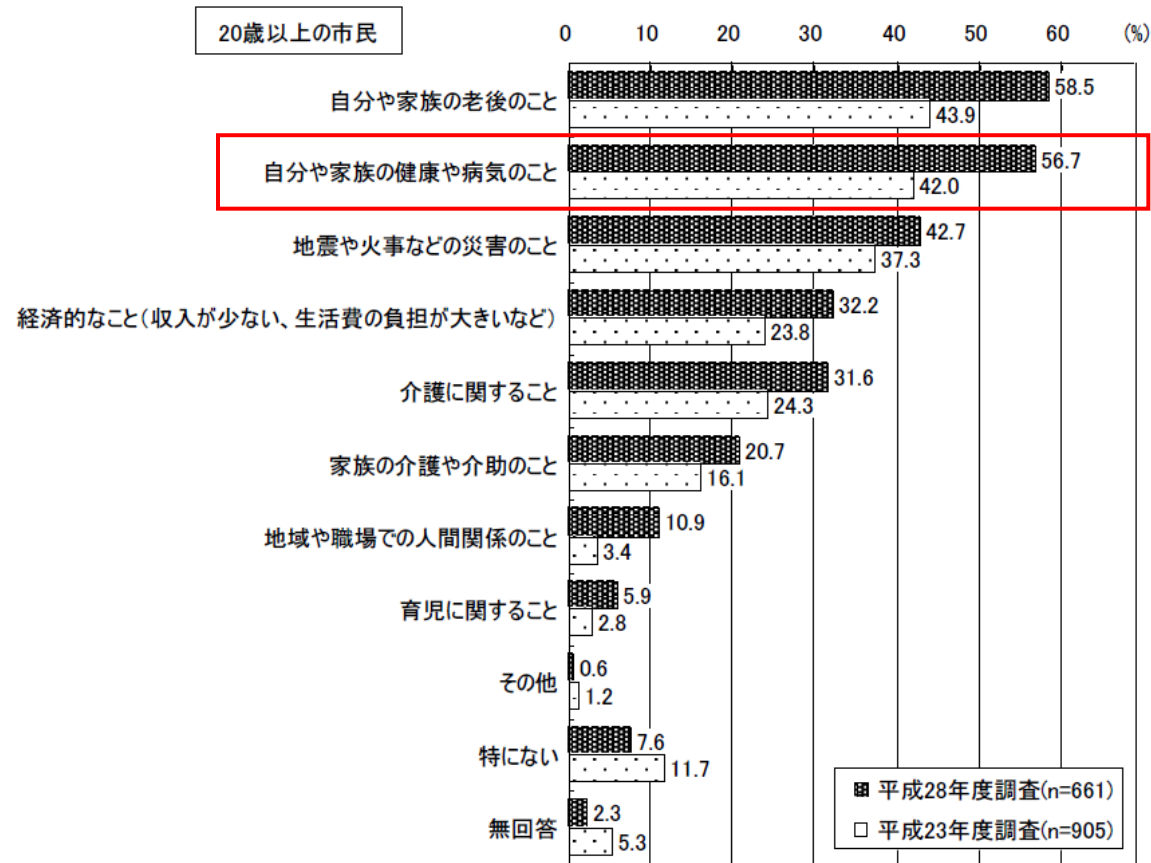
図 2-9 高齢者の外出状況・利用したいサービス

2-3 健康の状況

(1) 生活に対する不安

- ・ 市民の半数以上が自分や家族の健康、病気のことに関心を感じています。
- ・ 健康に対する不安は近年増加しています。

◆あなたは、日ごろの生活で、どのような悩みや不安を感じていますか。

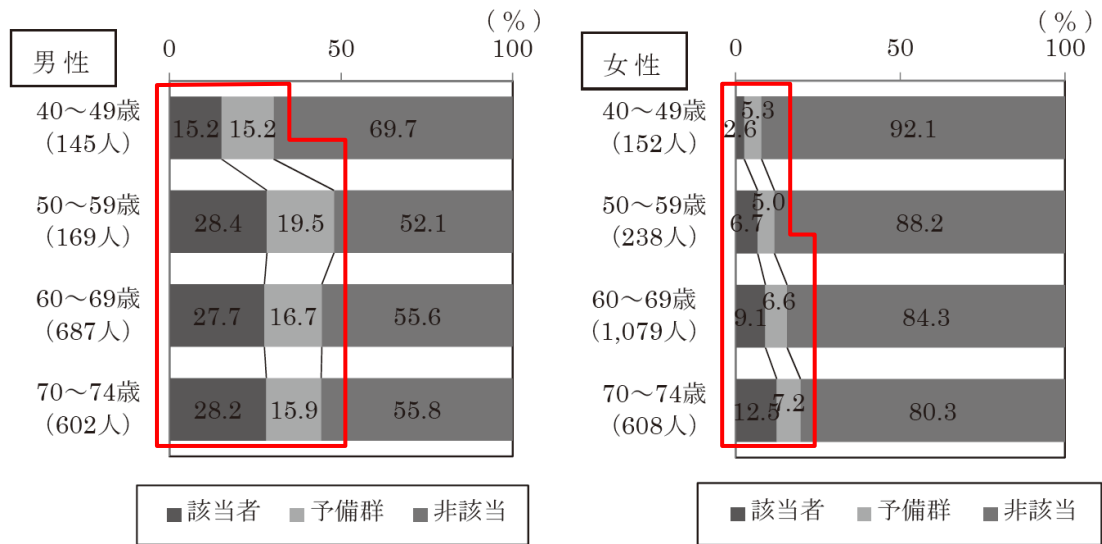


出典：第3次泉南市地域福祉計画及び地域福祉活動計画

図 2-10 生活に対する不安（20 歳以上の市民）

(2) 罹患状況

・ 50 歳以上の男性の約 3 割がメタボリックシンドロームに該当しています。

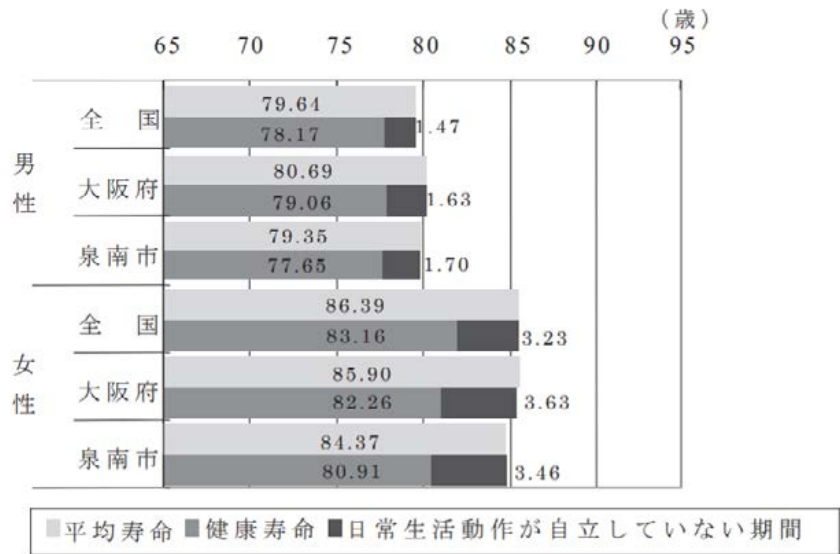


出典：健康せんなん 2 1（第 2 次計画）

図 2-11 メタボリックシンドロームの罹患状況

(3) 健康寿命

・ 健康寿命は男女ともに、全国平均や大阪府平均に比べて短くなっています。



出典：健康せんなん 2 1（第 2 次計画）

図 2-12 健康寿命

2-4 観光の状況

（1）主な観光施設・スポット

- ・臨海部には集客力の高いショッピングモールや SENNAN LONG PARK（泉南りんくう公園）等が位置しています。
- ・内陸部にも、藤の花、ローズガーデン等、人気のあるスポットが点在しています。



主な観光施設・スポット	概要
SENNAN LONG PARK (泉南りんくう公園)	・南北約 2 km にもおよぶ SENNAN LONG PARK が 2020 年夏にオープン。 ・アクティビティエリア、コミュニティエリア、マルシェエリア、グランピングエリア、グラウンド・ゴルフ場からなり、食、スポーツ、レジャーがまるごと体験できる。
泉南マーブルビーチ	・大阪府で初めて恋人の聖地に認定されたビーチ。 ・多くのカップルや家族連れでにぎわう人気のフォトスポットとなっている。
岡田漁港	・岡田漁港では、海鮮バーベキューや地引網体験を楽しむことができる。 ・SENNAN LONG PARK で、毎週土日 9 時～15 時に週末朝市を開催。
熊野街道 信達宿 梶本家の野田藤	・熊野街道梶本家では、樹齢 30 年を超える野田藤が毎年 4 万の花房をつける。 ・藤が満開を迎える毎年 4 月には「ふじまつり」が開催される。
林昌寺 (重森三玲の庭)	・境内では、毎年 4 月下旬にツツジが、色づき始める。 ・ツツジの後は、作庭家・重森三玲氏の「法林の庭」でサツキが見頃を迎える。
イングリッシュ ローズガーデン	・約 3000 株以上の薔薇が植えられており、購入することもできる。 ・薔薇の見ごろを迎える春と秋には「ローズ・フェスティバル」が開催される。
金熊寺梅林	・梅林が約 300 年前から栽培されており、梅林の名所として知られている。 ・毎年、2 月下旬～3 月中旬が見頃で、周辺は多くの人々で賑わう。

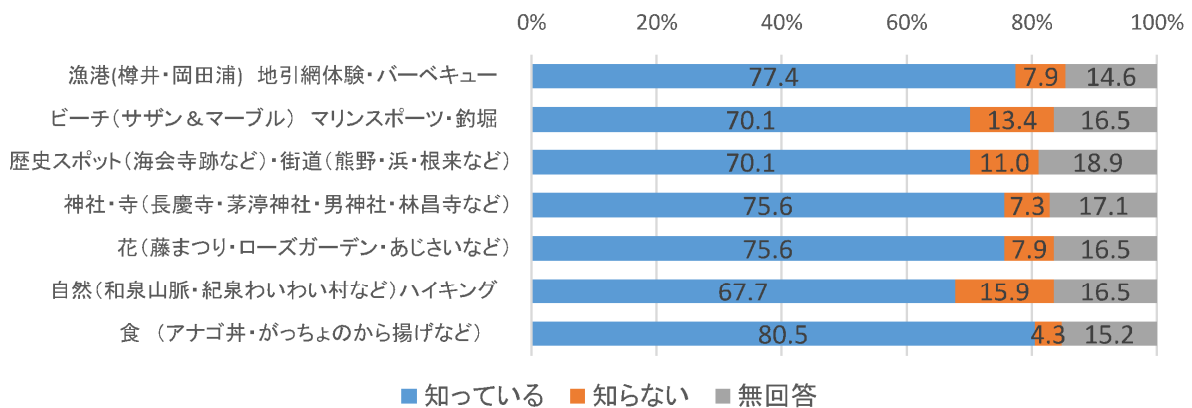
出典：泉南市観光協会

図 2-13 主な観光施設・スポット

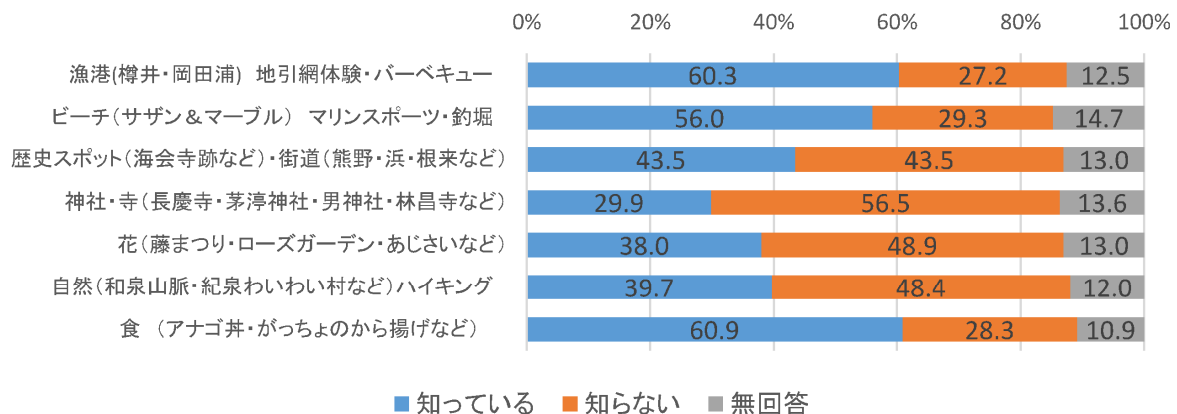
（2）観光資源の認知度

- ・市内の観光資源は、内陸部にあるものほど認知されていない状況にあります。
- ・魅力ある資源の周遊・回遊を促すことができていないと考えられます。

< 泉南市内在住者 >



< 泉南市外在住者 >



※SENNAN LONG PARK（泉南りんくう公園）開園以前のデータ

出典：泉南市観光振興ビジョン

図 2-14 観光資源の認知度

2-5 現状のまとめ

前節までの泉南市の現状のまとめを以下に示します。

2-1. 暮らしの状況

- 近年、人口は減少傾向にある一方、高齢者は増加傾向となっている。
- 大学進学や就職に伴い、10代後半から20代の転出が多くなっている。
- 住みたいまちとして、買い物や通勤・通学のしやすさ、交通の便の良さなどが求められている。

地域拠点の
機能、利便
性が低下

2-2. 交通・移動の状況

- 自家用車の利用が多く、自転車の利用率は府内の他市町村に比べて小さくなっている。
- 鉄道の利用者は減少している。
- 南海ウイングバス南部、さわやかバス等が運行しているが、運行水準が限られている。
- 交通手段がない等の理由から、外出を控えている高齢者は3割程度存在している。

きめ細かい
地域内交通
の不足

2-3. 健康の状況

- 市民の半数以上が自分や家族の健康、病気のことに関心を感じている。
- また、健康に対する不安は、近年増加している。
- 健康寿命は男女ともに全国平均に比べて短くなっている。

健康に対する
不安が増加

2-4. 観光の状況

- 臨海部には集客力の高い資源・施設が集積し、また内陸部にもスポットが点在している。
- しかし、市内の観光資源は、内陸部にあるものほど認知されていない状況にある。
- 魅力ある資源の周遊・回遊を促すことができていないと考えられる。

集客資源を
活性化に
活かして
いない

3 泉南市が目指すべきまちの姿

3-1 上位計画

（1）第5次泉南市総合計画

- ・まちの将来像として、「豊かな環境・支えあい、人を大切にする泉南市」を掲げています。
- ・「豊かな地域資源を活かした観光・交流のまち」、「市内外のネットワークが緊密に結ばれただれもが使いやすいまち」、「環境に負荷をかけないまち」等、計画が目指すまちのイメージが示されています。

●まちの将来像

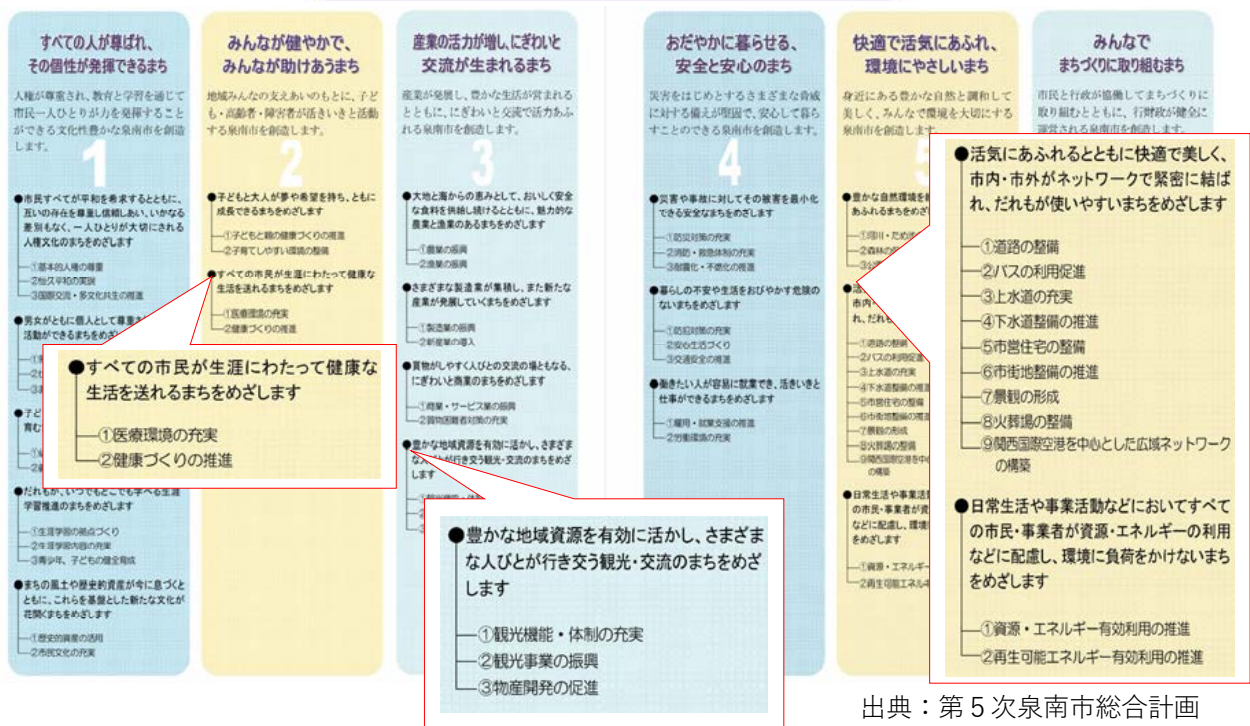
進展する少子高齢社会への対応、安全・安心なまちづくりといった社会潮流や時代の要請に即応しながら、行政はもとより、市民、地域コミュニティ、企業等、みんなが公共を担うことで、豊かな自然環境を大切にしながら、子どもから高齢者まで、一人ひとりの市民が、お互いを思いやる気

持ちをもって、このまちに住み続けることのできる魅力あるまちづくりが重要です。

このことから、これまでめざしてきた将来像である「水・緑・夢あふれる生活創造都市 泉南」を継承しつつ、人と人とのつながりに一層注力する本市の将来像を次のとおり定めます。

豊かな環境・支えあい、人を大切にする泉南市

みんなで夢を紡ぐ 生活創造都市



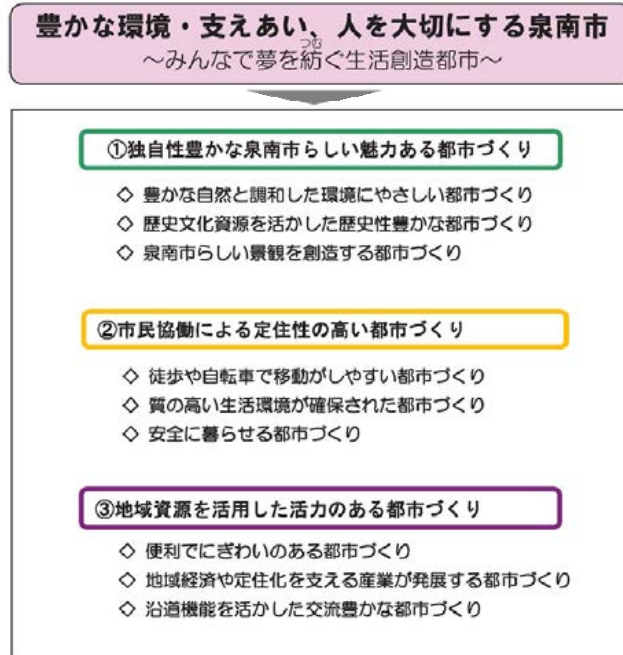
出典：第5次泉南市総合計画

図 3-1 まちの将来像およびまちづくりの方向

3-2 関連計画

（1）泉南市都市計画マスタープラン

- ・「徒歩や自転車で移動がしやすい都市づくり」や「沿道機能を生かした交流豊かな都市づくり」等が都市づくりの目標として挙げられています。
- ・「生活道路の安全性向上」等により、徒歩・自転車で移動しやすい交通環境を形成することとしています。



■ 泉南市における道路・交通の基本的な考え方

- （郡）泉南岩出線などの広域幹線道路や（郡）信達樽井線・（郡）砂川壱井線などの市内幹線道路の整備を促進し、これら幹線道路との連携を強化する道路交通ネットワークを形成します。
- 生活道路の安全性向上などを確保し、徒歩・自転車で移動しやすい交通環境を形成します。
- 鉄道駅構内及び駅周辺のバリアフリー化、駅前広場の整備などを推進するとともに、過度な自家用車利用を抑制し、徒歩・自転車や公共交通に転換しやすい環境の充実に努めます。



出典：泉南市都市計画マスタープラン（H27）

図 3-2 都市づくりの目標体系および道路・交通の基本的な考え方

（2）泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略

- ・せんなん成長戦略として、「行きたくなるまち・住んでみたいまち『せんなん』のイメージ獲得」や「誰もが安心して長く住み続けることができる時代にあったまち」等を掲げています。
- ・「広域連携による新たな観光振興策を創案」や「子供から高齢者まで生涯にわたり健康でスポーツが楽しめるまちづくりを推進」等を重点プロジェクトの基本的目標として挙げています。

＜人口ビジョン せんなん成長戦略＞

- ①行きたくなるまち・住んでみたいまち「せんなん」のイメージ獲得
- ②泉南市域における安定した雇用の創出・地域産業の充実
- ③若い世代が結婚・出産・子育てに希望を持ち安心して教育できるまちを
実感
- ④誰もが安心して長く住み続けることができる時代にあったまち

～ 重点プロジェクトと基本目標 ～

①にきわいと交流が生まれるまち ☆新たな地域資源を活かし、せんなんブランドを確立して内外に向けて発信 ☆関西国際空港のインバウンドを取り込み、交流人口や関係人口の拡大を推進 ☆広域連携による新たな観光振興策を創案
②子どもにやさしいまち・すべてのひとにやさしいまち ☆地域共生社会の実現をめざし、子どもとおとなが夢や希望を語り、心身ともに豊かに育つまちづくりを推進 ☆安定した「地域ぐるみ」のまちづくりを推進
③地域で支える暮らしの安心 ☆安全安心で将来にわたり安定した「地域ぐるみ」のまちづくりを推進
④国際的スポーツエリア「SENNAN CAMP」の創造 ☆子どもから高齢者まで生涯にわたり健康でスポーツが楽しめるまちづくりを推進 ☆スポーツを楽しみに、国内外から訪れたいくなるまち・せんなんの創造

出典：第2期泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略

図 3-3 せんなん成長戦略および重点プロジェクト

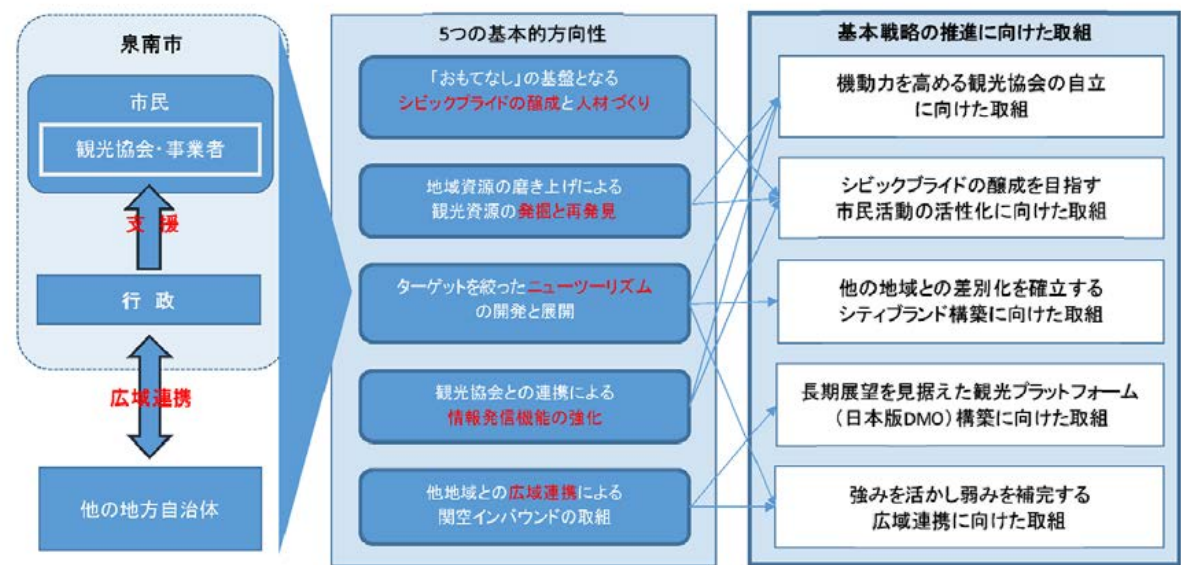
（3）泉南市観光振興ビジョン

- ・「ニューツーリズムの開発・展開」や「他地域との広域連携による取組」等を観光振興の基本的な方向性として掲げています。
- ・これらの実現に向け、「市民を巻き込んだ取組」や「既存の広域連携を活用した取組」を推進していくとしています。

■観光振興ビジョンの基本理念

泉南市は、**シビックプライド**に基づき魅力的なまちづくりを進める

■基本的方向性と取組



出典：泉南市観光振興ビジョン

図 3-4 基本理念および基本的方向性・取組

（４）健康せんなん２１

- ・「すべての市民が共に支えあい、生涯にわたって健康な生活をおくれるまち」を目指すことを基本理念として掲げています。
- ・基本方針のひとつとして、「健康増進支援のための環境整備」を挙げています。

■計画の基本理念

「すべての市民が共に支えあい、生涯にわたって健康な生活をおくれるまち」をめざします。

■計画の基本方針

基本 方針 1	市民が主体
基本 方針 2	一次予防と重症化予防
基本 方針 3	多様な実施主体と協働の健康づくり
基本 方針 4	分野別の健康づくりとライフステージにあわせた健康づくり
基本 方針 5	健康増進支援のための環境整備

分野別の健康づくり	
1. 栄養・食生活	①正しい食習慣を身につけ実践する ②食を楽しむ ③世代に応じた食育を推進する
2. 運動・身体活動	①定期的な運動習慣を身につける ②日常生活における歩数を増加する ③積極的に外出する
3. 休養・こころの健康づくり	①自殺者が減少する ②自分にあったストレス対処法を見つける ③睡眠による休養を十分にとる

●自分にあった楽しめる運動をみつけて、定期的に運動する
 ●1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上続ける
 ●スポーツ行事や地域でのイベントに積極的に参加する

出典：健康せんなん２１（第２次計画）

図 3-5 基本理念・方針および分野別の健康づくり

（５）泉南市地域福祉計画

- ・基本目標のひとつとして、「安心して快適に暮らせる基盤づくり」を掲げています。
- ・「道路交通環境の改善」や「交通安全教室の開催」等の取組を推進していくこととしています。

めざすべき社会の将来像	あいを育む泉南市
施策展開の基本目標	目標 1 地域社会でのつながりをつくるために 目標 2 住民主体の地域福祉活動を進めるために 目標 3 必要な人に適切に支援が届く仕組みをつくるために 目標 4 安心して快適に暮らせる基盤をつくるために

基本目標	基本施策	市の取り組み	社会福祉協議会の取り組み
1. 地域社会でのつながりをつくるために	(1) 共に生きる意識を高める (2) 多様な交流を進める	①福祉に関する意識の把握と啓発の推進 ②福祉教育、体験学習の推進 ③人権教育・人権啓発の推進 ④地域における多様な住民交流の促進	①福祉教育の推進 ②人権意識の向上 ③地域におけるあいさつ・声かけの促進 ④世代間交流の促進 ⑤身近な地域における交流の促進
2. 住民主体の地域福祉活動を進めるために	(1) 身近な地域での福祉活動を進める (2) ボランティア・NPO活動を進める (3) 地域ぐるみの認知症支援を進める	①小地域ネットワーク活動の促進 ②地域福祉の推進に向けたネットワークの形成 ③地域福祉を推進するための人づくり ④ボランティアの育成・確保 ⑤ボランティア・NPO活動への支援 ⑥認知症に関する啓発の推進 ⑦認知症に関する相談体制の充実	①地区福祉委員会活動の充実と担い手の育成 ②支援を必要とする人の見守り活動の推進 ③地域の福祉課題への対応 ④ボランティアの育成 ⑤ボランティア活動の促進
3. 必要な人に適切に支援が届く仕組みをつくるために	(1) 必要な情報がより届く仕組みをつくる (2) 相談支援体制を充実する (3) 福祉サービス等の充実と質の向上を図る (4) 生活困窮者の自立を支援する (5) 権利擁護を進める	①情報提供体制の充実 ②行政・関係機関の連携の充実 ③地域における相談体制の充実 ④高齢者福祉施策の推進 ⑤障害福祉施策の推進 ⑥子ども・子育て支援の推進 ⑦生活福祉施策の推進 ⑧サービス提供体制の充実 ⑨生活困窮者自立支援の推進 ⑩権利擁護と生活支援の推進 ⑪虐待防止に向けた取り組みの充実	①交通安全施設や歩道の段差解消等の整備 ②鉄道駅周辺地区の整備促進 ③交通安全対策事業、放置自転車対策事業、交通マナーについての啓発の推進 ④泉南市コミュニティバス運行事業の推進 ⑤障害のある人の移動支援の実施（心のバリアフリーの推進）
4. 安心して快適に暮らせる基盤をつくるために	(1) 安心して快適に暮らせるまちづくりを進める (2) 災害や犯罪に備えた環境づくりを進める	①すべての人が暮らしやすい生活環境の整備 ②安全・快適に利用できる道路交通環境の整備 ③災害に強いまちづくり ④防犯対策の推進	①被害のある人や高齢者等の移動支援 ②住宅改修相談の実施 ③災害時等における対応の強化

安全・快適に利用できる道路交通環境

- 歩道の段差解消や道路の危険箇所を確認し、警察などとの連携のもと、市民への周知や改善対策に努めます
- 交通マナーの向上のため、警察などと連携して交通安全教室の開催や啓発活動の充実に努めます。
- 交通施設・車両などのバリアフリー化、利便性向上について引き続き事業者に働きかけます。

関連する主な事業

- ・交通安全施設や歩道の段差解消等の整備
- ・鉄道駅周辺地区の整備促進
- ・交通安全対策事業、放置自転車対策事業、交通マナーについての啓発の推進
- ・泉南市コミュニティバス運行事業の推進
- ・障害のある人の移動支援の実施（心のバリアフリーの推進）

出典：泉南市地域福祉計画（H29）

図 3-6 基本目標および施策体系

3-3 自転車分野から目指すべきまちの姿

上位計画および関連計画でのまちづくりの方向性を踏まえ、「徒歩や自転車で移動しやすく定住性が高いまち」、「質の高い生活環境、活力・にぎわいのあるまち」、「生涯にわたり健康な生活」、「環境にやさしいまち」、「地域資源を活かした観光・ニューツーリズム」の5つの観点を自転車の活用により目指していくまちづくりのキーワードとして整理しました。

第5次泉南市総合計画
 【将来像】豊かな環境・支えあい、人を大切にする泉南市
 【関連施策（抜粋）】すべての市民が生涯にわたって**健康な生活**を送れるまち
 様々な人が行き交う**観光・交流**のまち
 活気あふれ誰もが**使いやすい**まち、環境に**負荷をかけない**まち

準拠・具体化

泉南市自転車活用推進計画

＜自転車分野から目指すべきまちの姿、キーワード＞

- ・徒歩や自転車で移動しやすく定住性が高いまち
- ・質の高い生活環境、活力・にぎわいのあるまち
- ・生涯にわたり健康な生活
- ・環境にやさしいまち
- ・地域資源を活かした観光・ニューツーリズム

連携・整合

都市構造・都市計画関係

都市計画マスタープラン

【都市づくりの目標】

- ① 独自性豊かな**泉南市らしい魅力**ある都市づくり
⇒豊かな自然と調和した**環境にやさしい**都市づくり
- ② 市民協働による**定住性**の高い都市づくり
⇒徒歩や自転車で移動しやすい都市づくり
⇒**質の高い生活環境**が確保された都市づくり
- ③ 地域資源を活用した**活力**のある都市づくり
⇒**便利でにぎわい**のある都市づくり

健康・福祉関係

健康せんなん21

【基本理念】

すべての市民が共に支えあい、生涯にわたって**健康な生活をおくれる**まち

【基本方針（抜粋）】

健康増進支援のための環境整備

地域福祉計画

【めざすべき社会の将来像】

あいを育む泉南市

【基本目標（抜粋）】

安心して快適に暮らせる基盤づくり

【市の取組】

- ・道路交通環境の改善対策
- ・交通安全教室の開催 等

まちづくり・地域活性化関係

まち・ひと・しごと創生総合戦略

【せんなん成長戦略（抜粋）】

- ・**行きたくなるまち・住んでみたいまち**
- ・**誰もが安心して長く住み続けられるまち**

【基本的方向（抜粋）】

- ・広域連携による観光振興
- ・生涯、健康でスポーツが楽しめるまちづくり

観光振興ビジョン

【基本理念】

シビックプライドに基づく魅力的なまちづくり

【基本的方向性（抜粋）】

- ・**ニューツーリズム**の開発・展開
- ・他地域との広域連携による取組

4 自転車を活用したまちづくりの目標

4-1 自転車の有効性

（1）移動手段としての機能・効率性

- ・機動性が高く、移動距離が 5km 程度では最も所要時間が短い交通手段とされています。
- ・自動車と比べると占有スペースが少なく、駐車に必要となるスペースの削減が可能となります。
- ・自転車はエネルギー効率が高く、CO₂ 排出量の大幅な抑制に寄与します。

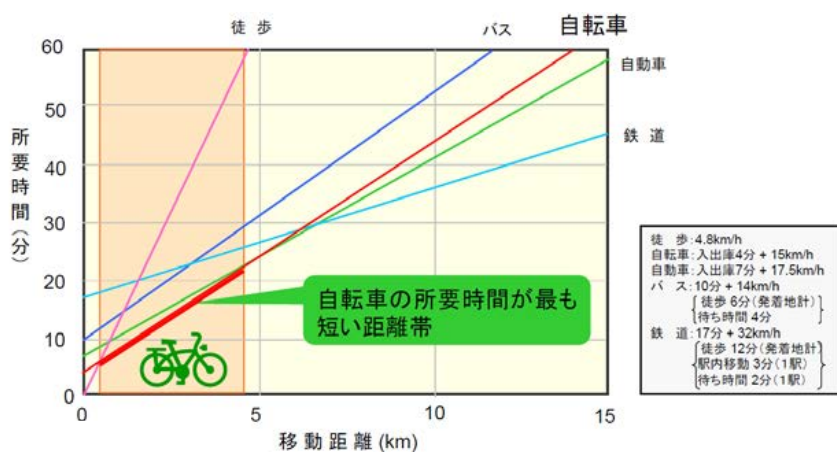


図 4-1 各移動手段における移動距離と所要時間の関係性

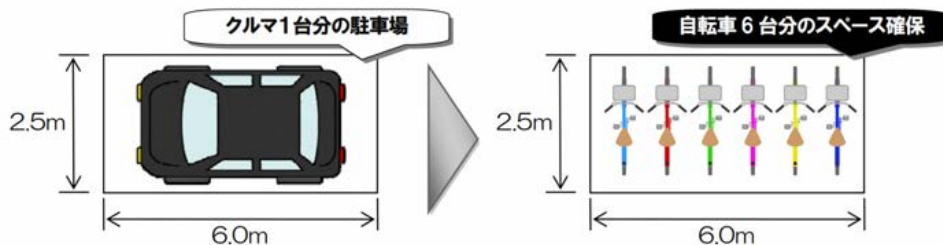


図 4-2 駐車に必要な空間の比較

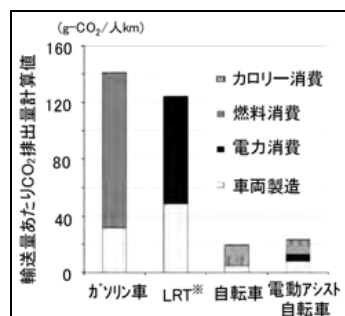


図 4-3 輸送機関別の CO₂ 排出量

（2）高齢者の移動手段としての可能性

- ・近年では、高齢者の免許返納後の交通手段としても注目されています。
- ・高齢者に使いやすい自転車の開発も盛んに行われています。

- 高齢者（65才以上）の免許の自主返納は2018年は40万件超となり、ここ10年で約8倍。
- 免許返納後の移動手段として、公共交通機関・徒歩の次点に、自転車が挙げられている。一方、電動車いすを選択する者は少なく認知度の向上が課題。



出典：経済産業省

図 4-4 高齢者の運転免許返納後の移動手段



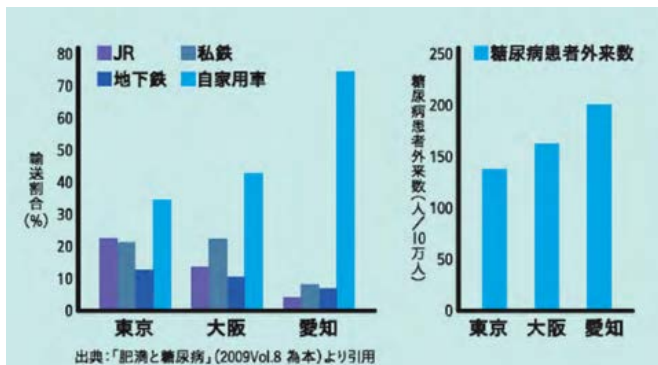
出典：株式会社 サギサカ、株式会社 協栄製作所 提供：株式会社 T-TRIKE

図 4-5 高齢者に使いやすい自転車

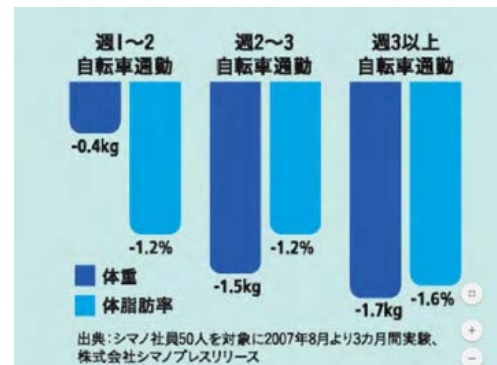
（3）健康増進効果

- ・ 自転車を日常的に利用するほど体脂肪が減少することが確認されており、自転車を利用することで糖尿病などの抑制が可能であると期待されています。
- ・ また自転車に乗ることで、40 歳を過ぎたころから衰える腸腰筋等の改善に効果的であることが確認されており、活動的な体を維持することにも効果的と考えられます。

【自動車利用と糖尿病の関係性】



【自転車利用量による体脂肪の変化】



出典：国土交通省

図 4-6 自転車利用と健康の関係性

自転車健康学教室
002

自転車でロコモ対策をはじめよう！

骨や筋肉は 40 歳を過ぎたころから衰え始める

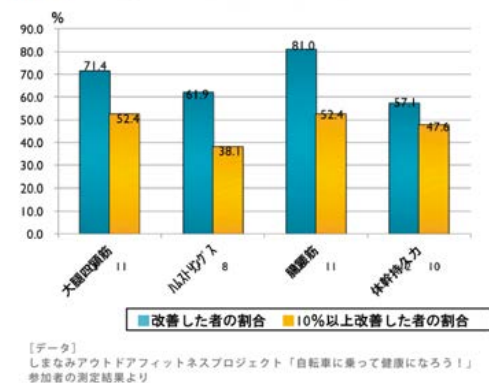
実際、しまなみアウトドアフィットネスプロジェクト「自転車に乗って健康になろう！」の参加者の約8割に、サイクリングによる筋力アップ効果がみられました(グラフ1参照)。

また、新体力テストの急歩(男子1500m、女子1000m)を急いで歩いて何分かかるかを測定。約9割の人が参加前より参加後のほうがよい記録となりました(グラフ2参照)。立ち幅跳びでも効果が表れているのは、太もも(大腿四頭筋、ハムストリング)や腸腰筋が鍛えられたおかげでしょう。

また、グリップを握ることで、握力がアップした人も7割以上になりました。

でも、自転車を漕ぐと足が太くなりそう？
その心配は無用です。通常のサイクリングや日常で乗る程度では、筋力アップはしても競輪選手のような太ももになることはありません。どんどんペダルを漕いで、太ももの筋肉や腸腰筋をしっかり鍛えましょう。

グラフ1 7～8割の人が大腿四頭筋、腸腰筋に効果あり！

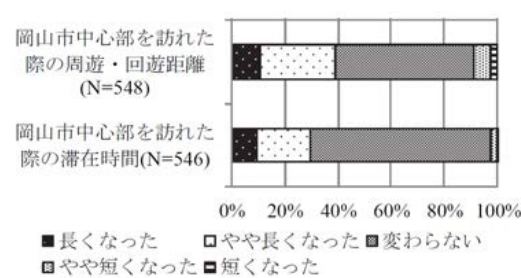


出典：シクロツーリズムしまなみ

図 4-7 自転車利用による健康維持の効果

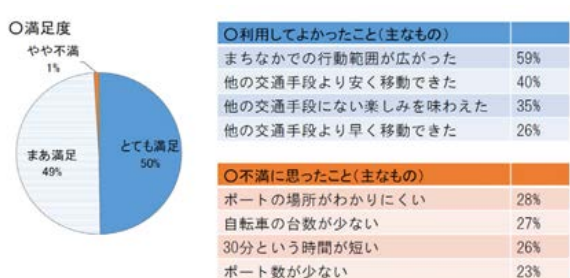
（４）周遊促進・活性化効果

- ・ 自転車で複数のポート間を移動できるシェアサイクルを導入した地域では、まちなかを訪れた際の回遊行動や範囲、滞在時間が拡大した効果が確認されています。
- ・ 岐阜県飛騨市では、地元では当たり前の農村風景を、自転車を活用して地元の住民や生活とのふれあいを創出することで、外国人にとって魅力ある資源に変え、誘客に成功しています。



出典：公益社団法人日本都市計画学会
（都市計画論文集 Vol.52 No.2

「コミュニティサイクルの導入がまちの魅力に与える効果に関する研究」



出典：金沢市

図 4-8 シェアサイクルによる行動変化

図 4-9 シェアサイクルによる効果

がんばる Chubu 観光地域づくり

“なんもない”里山に可能性を見出し、クールな田舎をプロデュース

日本人には当たり前の光景が、外国人を虜にする観光資源になった

里山の日常を自転車で巡るツアー

高山の奥座敷と称され、飛騨の山々を一望の美しい町並みとして知られる「飛騨古川」。周囲は北アルプスの支脈の山々に囲まれ、緑豊かな自然とともに歴史の香気や伝統文化が薫々と受け継がれている町でもある。

その飛騨古川に、世界80カ国から毎年数千人の外国人旅行者を輩出する人気のサイクリングツアーがある。自転車であつた地を巡るようなものではなく、地元の人たちが暮らす「なげない」里山の日常にお邪魔するといったもの。農村に佇む古民家、田んぼのあぜ道、小川のせせらぎなど、日本人には見慣れた光景が、

ブライズバイザー」で、コメントを寄せる参加者の99%が絶賛するこのツアーは、(株)美ら地球が実施する観光ツアー事業「SATOHAMA EXPERIENCE」の1つで、「飛騨古川サイクリング」という。

コンサル会社と世界放浪を経て飛騨古川へ

美ら地球の代表取締役を務める山田拓さんは、異色の経歴の持ち主だ。奈良県出身で、大学卒業後、外資系コンサルティング会社に就職し、ニューヨークで勤務。その後、米国以外の文化にも関心を持ち、2010年に帰国。2011年に(株)美ら地球を創業。現在は、世界放浪経験を活かして、海外からの観光客を誘致する活動を行っている。

出典：一般社団法人中部経済連合会
（機関誌「中経連」2018年10月号
「特集 がんばる chubu 観光地域づくり編」）

「暮らしを旅する」とは...

地域住民が「なんにもない...」という地方部の農村景観、原風景はこの上ない価値の源泉となり得る。

地域住民との、ふとした触れ合いは、リアリティを求める旅行者にとっては、現地訪問ならではの、ひと時となる。

何気ない外国人との触れ合いは、ゲストの満足に加え、住民への刺激、国際教育など多面的な側面での貢献が期待される

超人気キャラ、アオガエル。世界中の異文化の視点から、衰退著しい地方部を見つめなおすと、様々な角度から豊かな価値を再認識できる。

出典：(株) 美ら地球

図 4-10 外国人観光客を対象としたサイクリングツアー（飛騨里山サイクリング）

（５）自転車の有効性のまとめ

自転車の有効性として、「接続性」、「幅広い移動手段に」、「健康効果」、「魅力創出」が挙げられます。

自転車の機能や特性を上手く活かしながら、泉南市が掲げる目指すべきまちの姿を実現していくことが望まれます。



接続性

高い機動性や省スペース性を活かして、きめ細かくまちや交通を結ぶことが可能です。

幅広い移動手段に

高齢者にも使いやすい工夫により、幅広い層に対応した手段の確保が可能です。

健康効果

自転車に日常的に乗って移動する習慣をつけることで、成人病予防や健康維持が可能です。

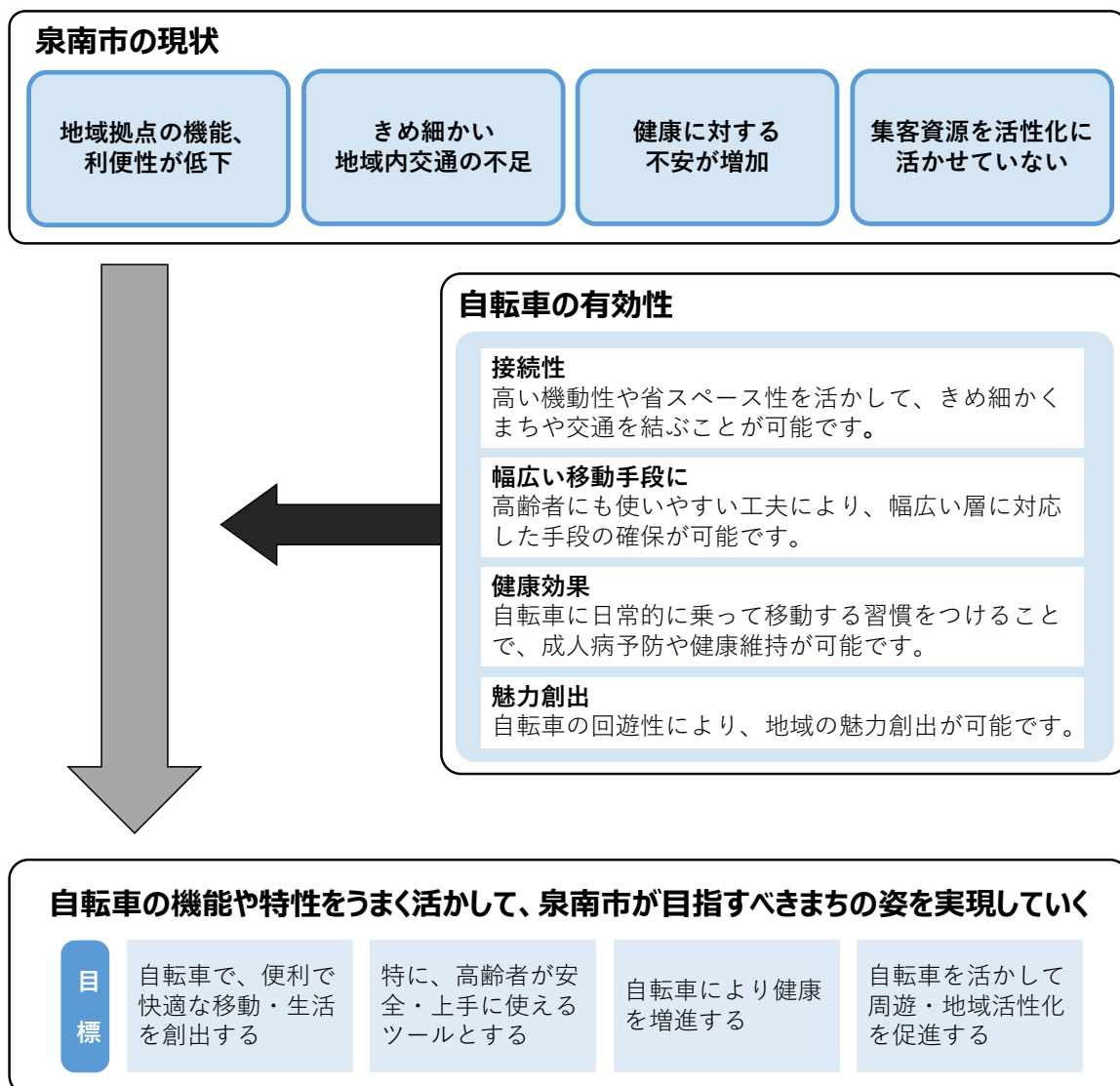
魅力創出

自転車の回遊性により、地域の魅力創出が可能です。

4-2 自転車を活用したまちづくりの目標

2章～4章で整理した、泉南市の現状、目指すべきまちの姿、自転車の有効性を踏まえ、泉南市の自転車を活用したまちづくりの目標を以下のとおり整理しました。

自転車を活用したまちづくりの目標として、「自転車で、便利で快適な移動・生活を創出する」、「特に、高齢者が安全・上手に使えるツールとする」、「自転車により健康を増進する」、「自転車を活かして周遊・地域活性化を促進する」を掲げ、自転車の機能や特性を活かしながら、泉南市が目指すべきまちの姿を実現していくこととします。



5 目標に対する実態の分析

5-1 市民の自転車利用の実態

泉南市における今後の自転車活用推進の方向性やその取組の内容・進め方を検討するため、自転車の利用実態や市民のニーズを把握することを目的としたアンケート調査を実施しました。

アンケート調査で把握した、市民の自転車利用の状況や自転車に対するニーズ等を次ページ以降に示します。

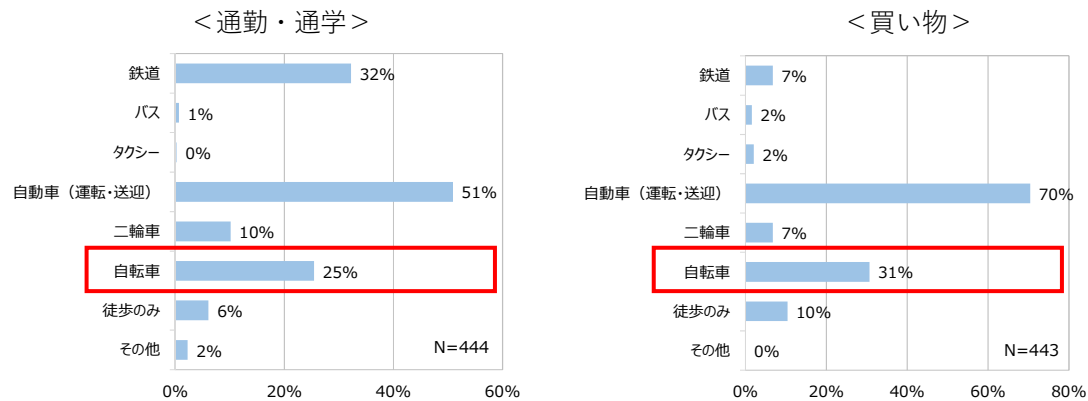
表 5-1 アンケート調査の実施概要

	市民アンケート	利用者アンケート
対象	・ 泉南市内に住む市民 ・ 計 3,000 名を無作為抽出	○市内中学通学者 ・ 中学 2 年生 540 名を対象 ・ 学校を通じて配布、実施 ○一般利用者 ・ 街頭にて 600 名に配布 ○レンタサイクル利用者 ・ 観光協会を通じて 10 名に配布
実施期間	・ 令和 2 年 4 月中旬～4 月下旬	・ 令和 2 年 6 月中旬～6 月下旬
質問内容	・ 個人属性 ・ 日頃の移動パターン、交通手段 ・ 移動の制約、困っていることの有無 ・ 自転車利用環境に対する満足度、評価 ・ 自転車ルールの認知、順守状況 ・ 自転車に対する愛着 ・ 健康づくりの状況（サイクリング実施有無等） ・ 泉南市の自転車通行空間検討への興味等	・ 個人属性 ・ 自転車の利用パターン、利用経路、改善要望箇所 ・ 自転車利用環境に対する満足度、評価 ・ 自転車ルールの認知、順守状況 ・ 自転車に対する愛着 ・ 駐輪場の利用状況等

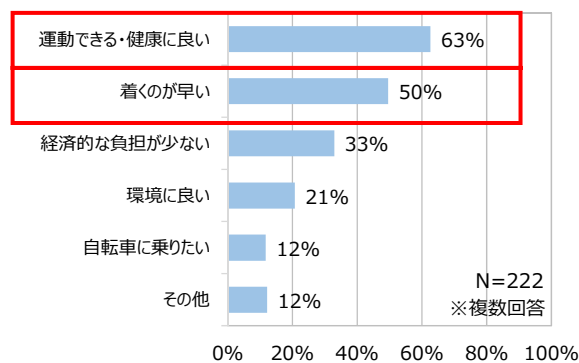
（１）自転車の利用状況

- ・自転車は2～3割程度の人が利用し、多くが自動車を利用しています。
- ・運動できる・健康に良いや、着くのが早い等の理由で主に自転車が使われています。しかし、自転車がないため条件的に利用するのが難しい人も一定数みられます。

■日頃利用している交通手段

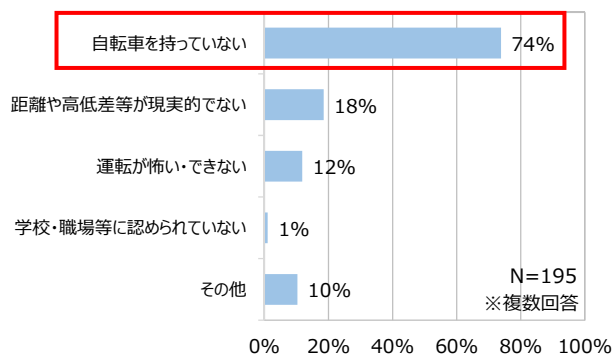


■普段自転車を利用する理由

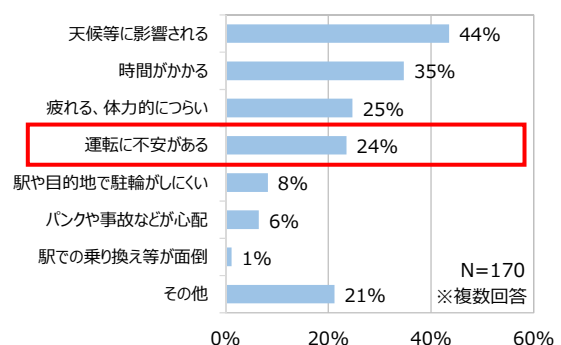


■普段自転車を利用しない理由

<条件的に利用できない理由>



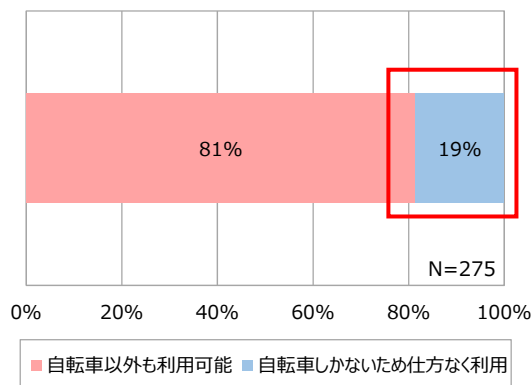
<利用できる状況にあるが利用しない理由>



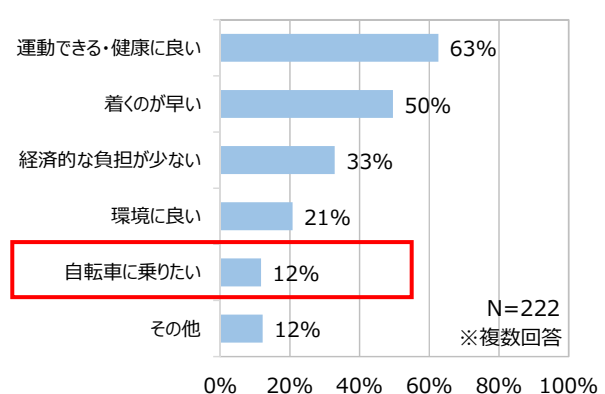
（2）自転車の使い方・態度の現状

- ・約 2 割は仕方なく利用しており、自転車に乗りたいという理由で使う人は約 1 割となっています。
- ・自転車が好きな人は約半数にとどまっており、自転車を譲り合いながら使う手段と考える人は 5 割以下となっています。
- ・ルール認知度は高いですが、常に順守している人はほとんどの項目で 5 割以下となっています。

■自転車の利用意向

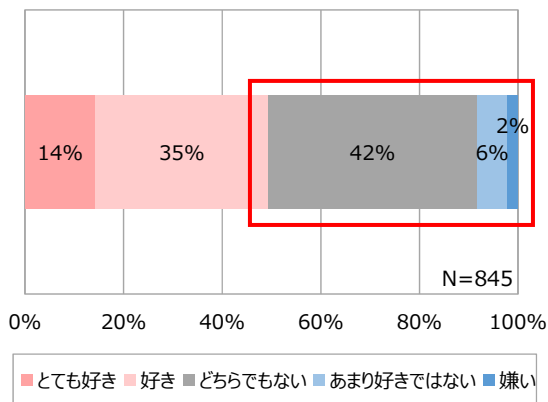


■自転車を利用する理由【再掲】

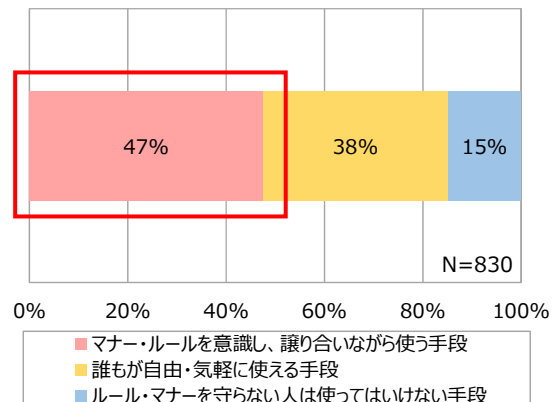


■自転車利用に対する態度

<自転車に対する愛着>

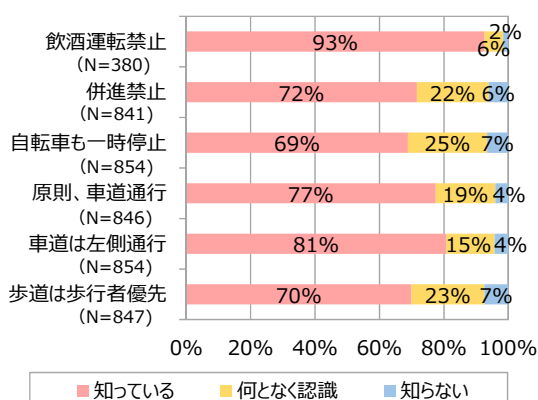


<自転車に対する考え>

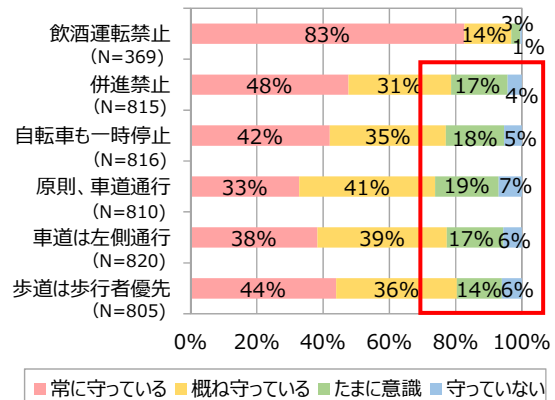


■自転車の安全利用に対する現状

<自転車ルールの認知状況>



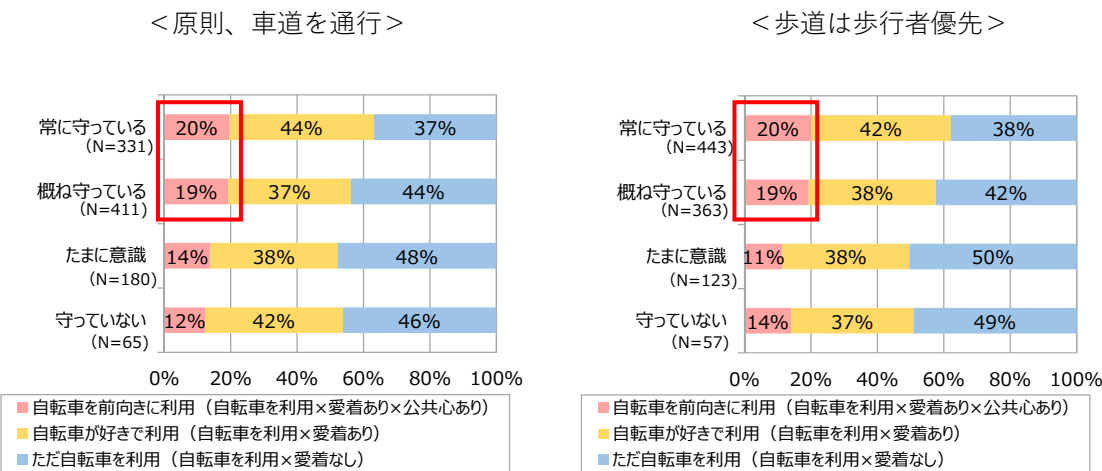
<自転車ルールの順守状況>



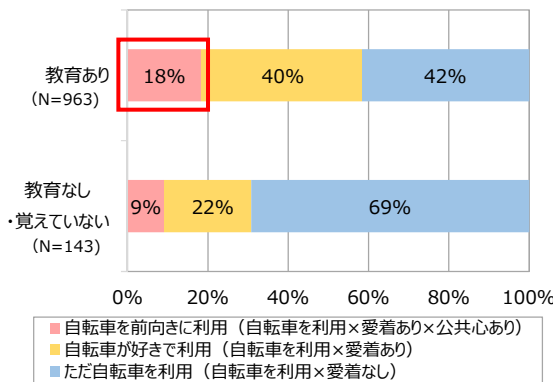
（3）愛着や公共心をもつ自転車利用者の傾向・特性

- ・日頃からルールを守っている人や、自転車利用に関する教育を受けている人は、前向きに自転車を使う人（愛着・公共心あり）の割合が多くなっています。
- ・また、前向きに自転車を使う人の多くは、多様な層が通りやすい自転車用空間の確保や自転車通行位置・方法の明確化が必要と考えています。

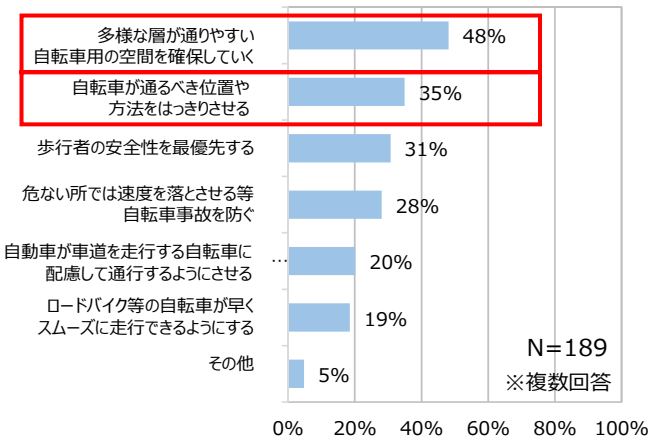
■使い方に対する自転車ルール順守の影響



■使い方に対する自転車教育の影響

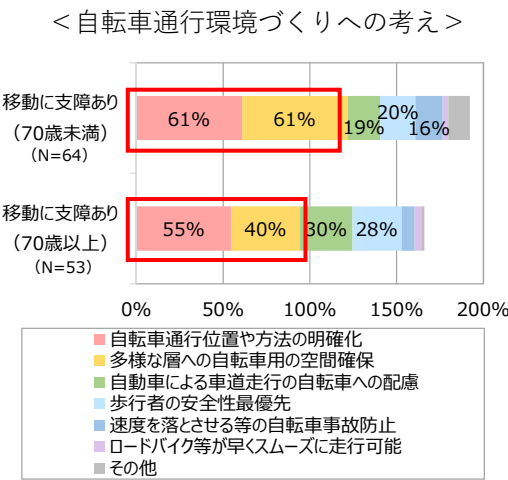
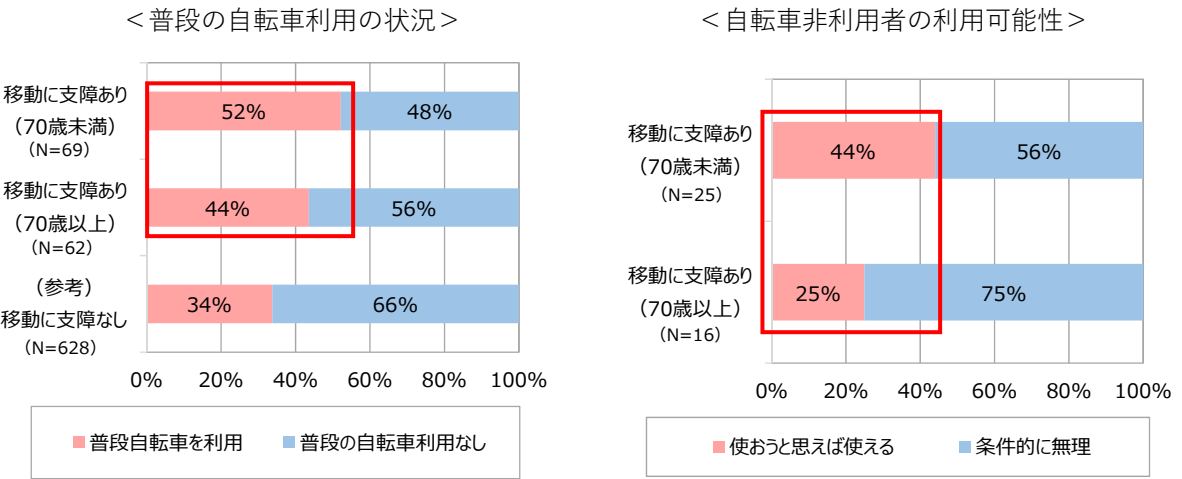


■前向きに自転車を使う人の自転車通行環境づくりへの考え



（４）高齢者・移動に支障がある人の自転車利用状況

- ・移動に支障があっても普段から自転車を利用する人は約４～５割存在しています。
- ・また、非利用者の約３割は自転車を使える状況にあると回答しています。
- ・自転車を利用するために必要なサポートとしては、電動アシスト自転車等の高齢者でも安心な車両普及やドライバーへの意識醸成等の意見が挙げられています。



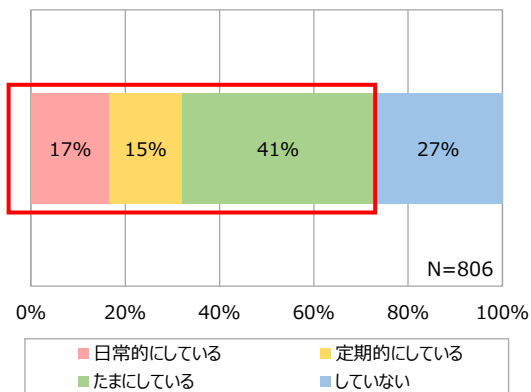
■自転車を利用するために必要なこと・サポート（自由意見）

マナー・ルール	・車道の左側を走行しているが、いつも右側すれすれを自動車が追い抜いて怖いため、自転車に配慮してほしい。
通行環境	・側溝やコンクリートの境目・段差でこけそうになることもあり、車道を走行するのが怖い。 ・自転車で車道を走行しなければならないところが多く、怖い思いを何度もしている。自転車で安全に走行できる道・環境を整備してほしい。
自転車車両	・高齢になるにつれて免許返納を考えているが、坂道が多く自転車は難しい。アシスト自転車があれば利用することもできるかもしれない。 ・年齢が高く、上り坂もしんどいので、バイクが使えなくなったら電動自転車の使用を考えている。

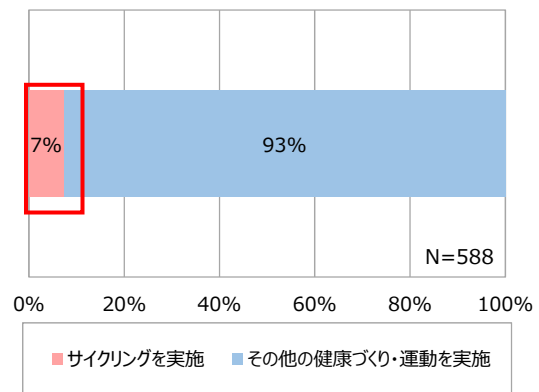
（５）健康づくり・運動の実施状況

- ・約 7 割が運動を実施しており、日常的に実施している人は約 2 割を占めています。しかし、運動を行う人の内、サイクリングの実施は 1 割程度にとどまっています。
- ・運動をしたい・もっとしたいと考えている人が約 9 割を占めており、その内の約 5 割はサイクリングの実施に興味があると回答しています。
- ・安全・安心な走行環境の整備や自転車やツールの提供・レンタル等が求められています。

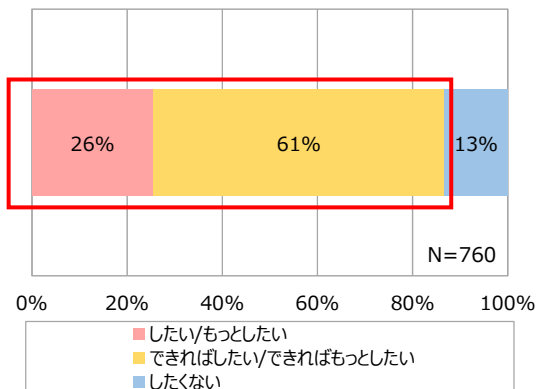
<運動の実施状況>



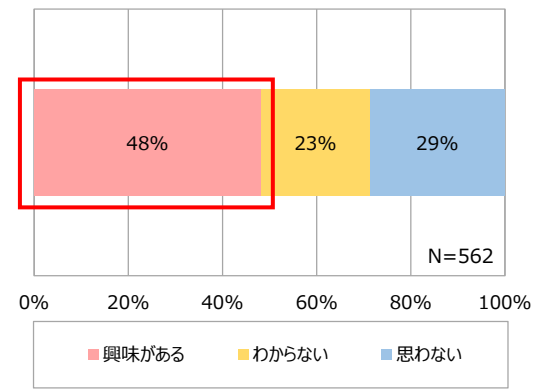
<サイクリングの実施状況>



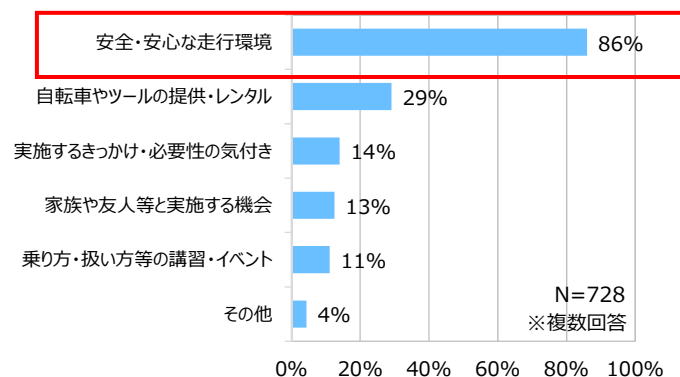
<運動の実施意向>



<サイクリングの実施意向>



■サイクリングを取り入れるために必要なこと



5-2 観光振興に対する関係者意見・関連施策動向

（1）観光施設・スポットに対する現状認識

ヒアリング等により把握した、観光施設・スポットに対する関係者の現状認識を以下に示します。

観光施設・スポットに対する現状認識（関係課意見）

- 海側の観光施設・スポットの利用は多いが、ローズガーデンや林昌寺等の山側施設への回遊はあまり促せていない。
- バラや藤等の「花」は泉南市の資源だが、季節が限定されてしまうため、通年で来訪を促せるような仕組みが必要。
- ローズフェスティバル開催中はシャトルバスが運行されているが、自動車利用も多く、周辺の道路が混雑している状況。
- あまり知られていない観光施設・スポットもあるので、上手く周知してもっと来訪してもらいたい。

（2）観光に関する関連施策の動向

観光に関する関連施策の動向を以下に示します。

■SENNAN CAMP

・りんくうエリアを中心に、子どもから高齢者まで生涯にわたりスポーツが楽しめ、国内外の学校やクラブによる合宿が可能なエリア「SENNAN CAMP（せんなんキャンプ）」としてのブランディングを推進
⇒エリア間の移動手段等を含めて、自転車による価値・魅力の向上が期待される

■泉州サイクルルート（一般社団法人 KIX泉州ツーリズムビューロー）

- ・サイクルマップの発行
 - ・サイクルアプリ「泉州くるナビ」の活用促進
 - ・ICTを活用した泉州サイクル周遊スタンプラリー
- ⇒泉州サイクルルートへの来訪が、泉南市への立ち寄り・活性化につながるような連携が望まれる

▽サイクルマップ



▽周遊スタンプラリー



出典：大阪泉州観光ガイドHP

5-3 自転車の利用実態のまとめ

自転車を活用したまちづくりの目標に対する自転車利用の実態を以下のとおり整理しました。

実態調査

2~3割が自転車を利用／道路特性から幹線だけでなく生活道路も利用

- ・自転車は2~3割程度の人が利用し、多くが自動車を利用しています。
- ・自転車はりんくう南浜エリアや樽井エリアに向かう移動で多く利用されています。
- ・山側⇄海側では信達樽井線が、和歌山側⇄大阪側ではりんくう南周回線や国道26号が主要路線となっています。
- ・踏切位置等から歩道のない生活道路を利用するパターンが多くなっています。
- ・経路を選択する際は、距離の短さや通行空間の広さ、自動車の少なさ等が優先されています。
- ・通行環境に対してほとんどが満足していない状況です。

目標

目標①
自転車で、便利で快適な移動・生活を創出する

より上手く利用してもらうために、分かりやすい利用環境や教育が必要

- ・自転車を持たない人でも利用できる環境、運転しやすい安全・安心な走行環境が必要です。
- ・現状では後ろ向きに自転車を使う人（愛着・公共心低）が多く、通行方法を知っていてもほぼ守らない人もいる状況です。
- ・前向きに自転車を利用してもらうには、正しく使える環境や教育、多様な層が使いやすい環境が必要です。
⇒泉南市の多様な利用状況にあわせ、分かりやすく、安全・安心な通行環境
⇒通行空間以外の環境確保（シェアサイクル等）
⇒自転車を正しく使える、使う、雰囲気づくり、通行環境のモデル・ショーケースづくり、教育

目標②
特に、高齢者が安全・上手に使えるツールとする

高齢者でも活用可能性あり／安全・安心で運転しやすい環境が必要

- ・移動に支障がある高齢者等でも、自転車の利用可能性が一定存在しています。
- ・自転車の利用には、わかりやすく使いやすい環境、安心して利用できる環境が求められています。
⇒高齢者にも運転しやすく、安全・安心な通行環境（標示・案内、専用空間＋運転しやすいディテール）
⇒高齢者にも使いやすい通行空間以外の環境整備（電動アシスト等）

目標③
自転車により健康を増進する

健康づくりに自転車活用が可能／環境づくり・きっかけづくりが必要

- ・健康づくりや運動へのサイクリングの取入に興味がある人は一定数存在しています。
- ・サイクリングを楽しむためのコース設定・施設整備やパンク等の自転車修理を行う自転車販売店舗の拡充が求められています。
⇒サイクリングがしたくなる安全なコース・環境づくり、活用のきっかけづくり

関係者意見・関連施策動向

目標④
自転車を活かして周遊・地域活性化を促進する

周辺資源を活かし、自転車と連携させることで認知度・魅力向上が可能

- ・山側に位置する施設への回遊をあまり促せていません。
- ・「花」が主要観光資源となっていますが、季節が限定されてしまっています。
- ・イベント開催中は周辺道路で渋滞が発生しています。
- ・主に山側の観光資源の周知を行い、認知度の向上を図ることが必要です。
- ・泉州サイクルルートへの来訪が、泉南市への立ち寄り・活性化につながるような連携が望まれます。
⇒シェアサイクルの仕組み、既存のスポット、資源を活かした回遊のしくみづくり
⇒自転車による魅力の顕在化と併せた回遊性向上、自転車によるアクセスを含めた魅力づくり
⇒周辺エリアのサイクルツーリズム、自転車スポーツのハブ・コンテンツとしての地域ブランディング

6 自転車活用推進に向けた課題と取組

6-1 自転車活用推進に向けた課題

前章の自転車を活用したまちづくりの目標と実態を踏まえ、自転車を活用してまちづくりを進めていく際の課題について、以下のとおり整理しました。

自転車利用の普及を促していくためには、正しく使える環境のモデルづくりも含めた「誰にとっても自転車が使いやすい状況づくり」を進めていくとともに、若いうちから適切に「賢く自転車を利用できる習慣・文化づくり」が必要です。そして、うまくきっかけをつくりながら「自転車による健康・運動習慣の醸成・定着」や、観光資源・動向を踏まえた「自転車による地域内外周遊の魅力の創出」に展開していくことで、泉南市が掲げるまちづくりを推進していく必要があります。また、これらを進めていく上では、「自転車利用における安全の確保」を行っていくことが必要です。

課題1 誰にとっても自転車が使いやすい状況づくり

- 多様な層の利用実態に応じ、分かりやすく使いやすい走行環境や駐輪環境、ツール等が必要
- 特に、正しく使える環境顕在化、モデルづくりが必要

課題2 賢く自転車を利用できる習慣・文化づくり

- 若いうちから、適切に自転車を利用できる習慣、自転車利用文化を醸成していくことが必要

課題3 自転車による健康・運動習慣の醸成・定着

- 健康改善や予防等を目的とした自転車の利用・アクティビティの浸透、きっかけづくりが必要

課題4 自転車による地域内外周遊の魅力の創出

- 地域内+αの既存資源や人の動きを踏まえ、周遊を促すことができる魅力創出、環境づくりが必要

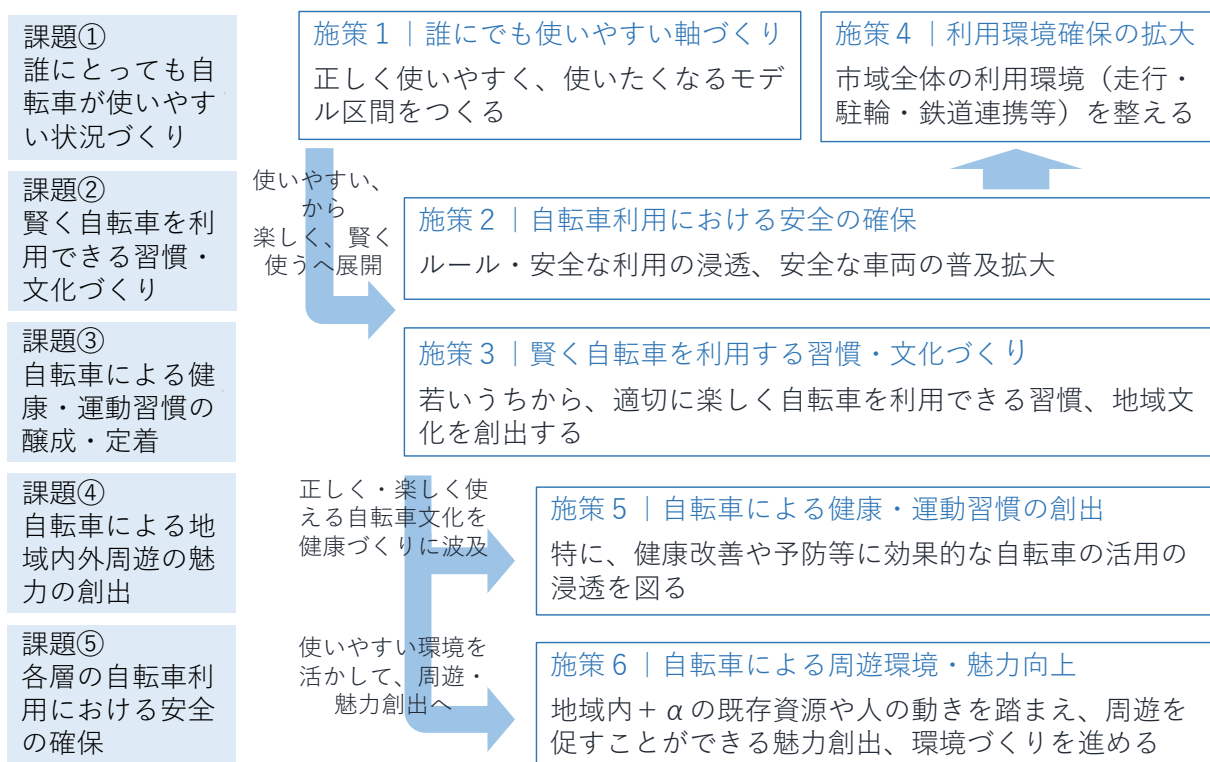
課題5 各層の自転車利用における安全の確保

- 誰でも安全に使える環境、人、車両の確保が必要

6-2 自転車を活用したまちづくりの取組

6-2-1 施策の展開

前章の自転車を活用したまちづくりの目標を実現するため、まずは誰にでも自転車を使いやすい軸づくりから進めていくことを基本とし、安全確保や習慣・文化づくり等、「使いやすい」から「楽しく、賢く使う」へと展開していきます。そして、正しく・楽しく使える自転車文化が醸成された後、自転車利用環境確保のさらなる拡大を図るとともに、健康づくりへの波及や周遊・魅力創出を行っていきます。



6-2-2 取組体系

前項の施策展開を踏まえ、自転車を活用したまちづくりの目標を実現するため、以下の取組を実施、検討していくこととします。

表 6-1 取組体系

施策	取組内容
施策 1 誰にでも使いやすい軸づくり	重要路線におけるモデル整備の推進
	モデル整備を活用した正しい利用啓発
施策 2 自転車利用における安全の確保	自転車利用経路上の危険箇所の点検、対策の推進
	交通安全教室の実施・拡大
	自転車の点検・整備の啓発
	ドライバーへの安全啓発の実施
施策 3 賢く自転車を利用する習慣・文化づくり	ヘルメットの着用・普及促進
	自転車のメリット、効果等の周知啓発
	高齢者にも使いやすい自転車等の普及促進
	自転車損害賠償責任保険の加入促進
施策 4 利用環境確保の拡大	重要路線以外における自転車通行環境の整備の推進
	シェアサイクル等の導入検討
	市営駐輪場における運営手法の見直しと放置自転車対策
施策 5 自転車による健康・運動習慣の創出	健康サイクリングの周知啓発
	スポーツサイクルの体験・普及促進
	自転車による健康づくり拠点の検討
施策 6 自転車による周遊環境・魅力向上	自転車を活用した地域ブランディング、モデルルート等の設定
	地域資源を活かしたイベント等の開催
	泉州サイクルルートの取組との連動

6-3 自転車ネットワーク

6-3-1 自転車ネットワーク対象路線の選定

（1）路線選定の考え方

自転車ネットワーク対象路線の選定の考え方を以下に示します。

- ・市民へのアンケート調査で把握した、自転車の利用実態に基づき、ネットワーク路線を選定します。
- ・利用が多い路線であっても、交通量や幅員等の道路状況が自転車通行に適していない場合は、ネットワーク路線の対象から除外します。
- ・利用が少ない路線であっても、ネットワークの連続性や利用者の安全性・利便性、市街地の主要拠点や観光施設との接続性等を考慮し、ネットワーク路線として選定します。
- ・特に利用が多い幹線等で、重点的に使いやすい環境を整えるモデル区間として整備をしていく必要がある路線を重要路線として選定します。

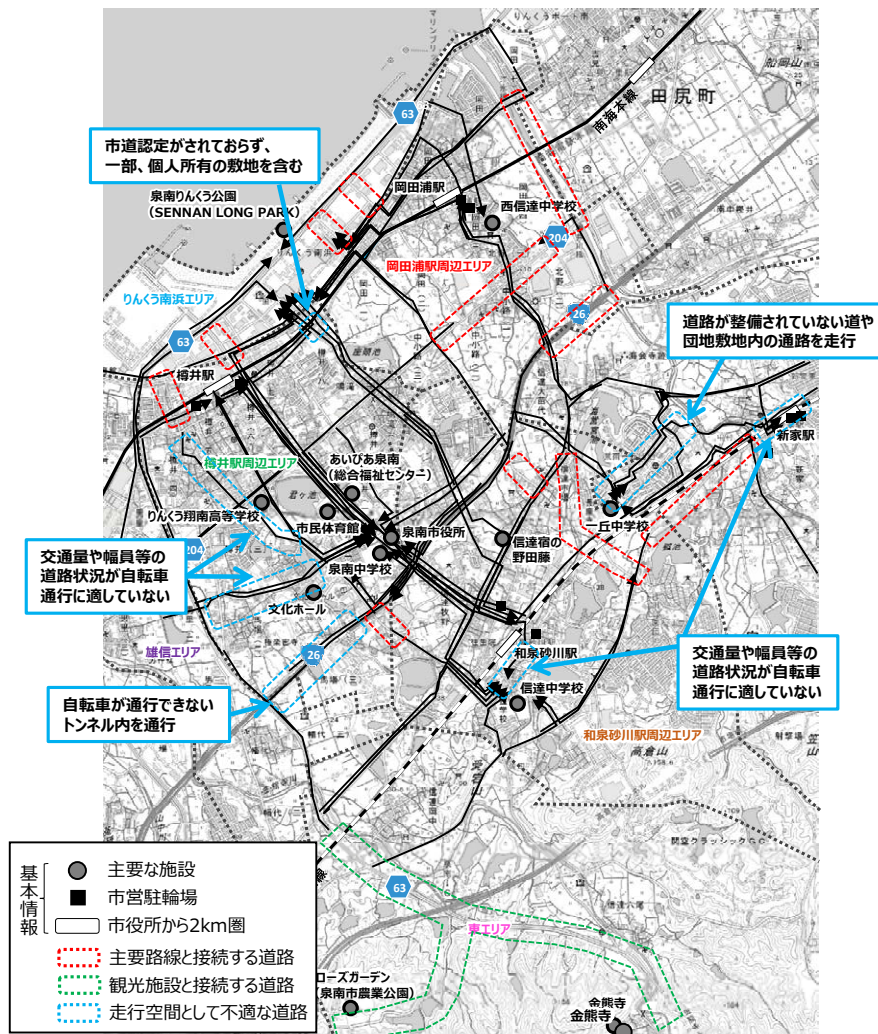


図 6-1 アンケート調査結果に基づく自転車の主な利用パターン

（2）自転車ネットワーク対象路線

前項の考え方に基づいた、自転車ネットワーク対象路線を以下に示します。

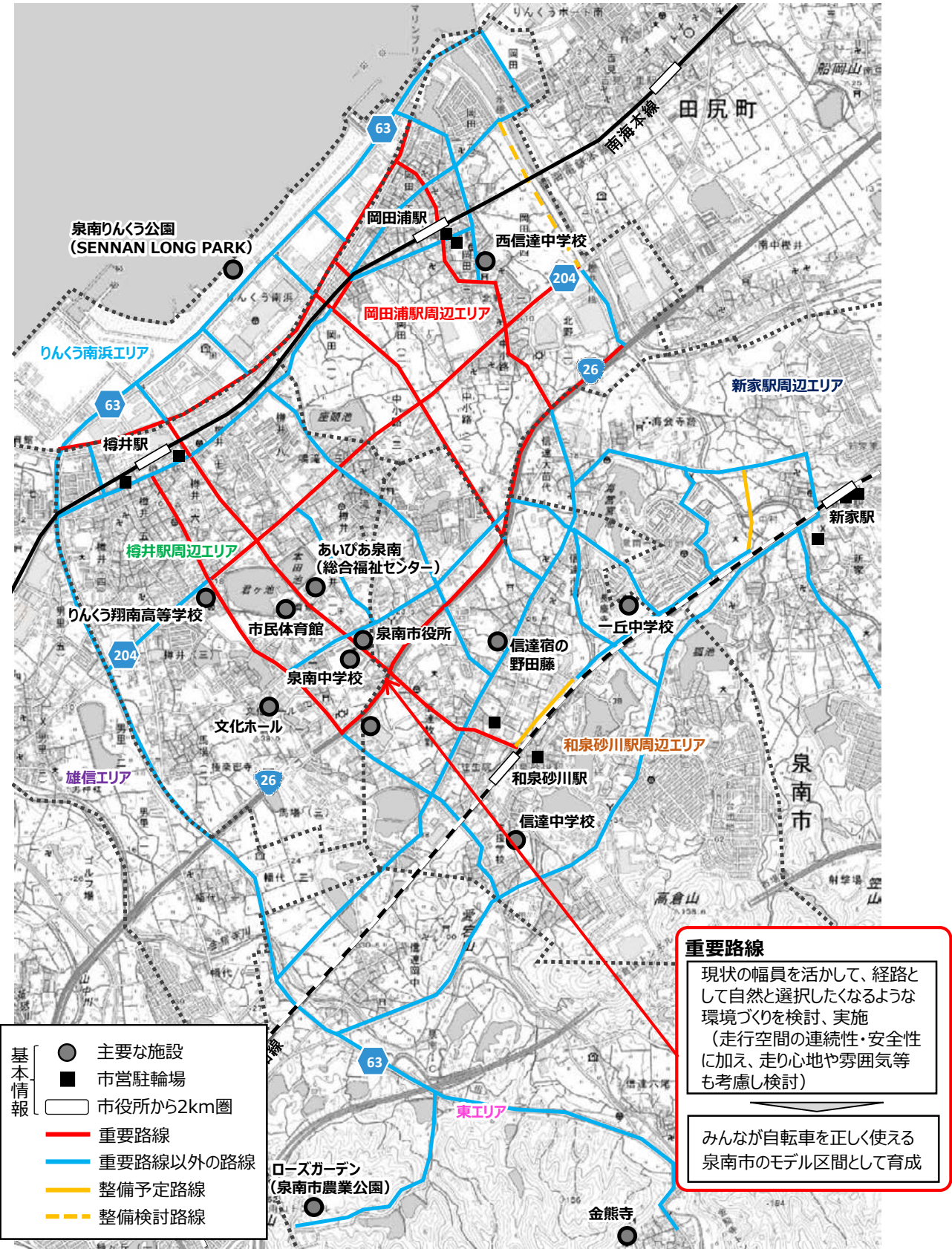


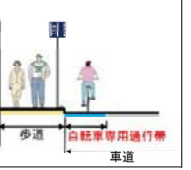
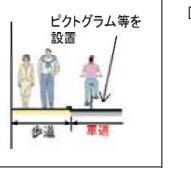
図 6-2 自転車ネットワーク対象路線

6-3-2 自転車ネットワーク対象路線の整備形態

(1) 整備形態の考え方

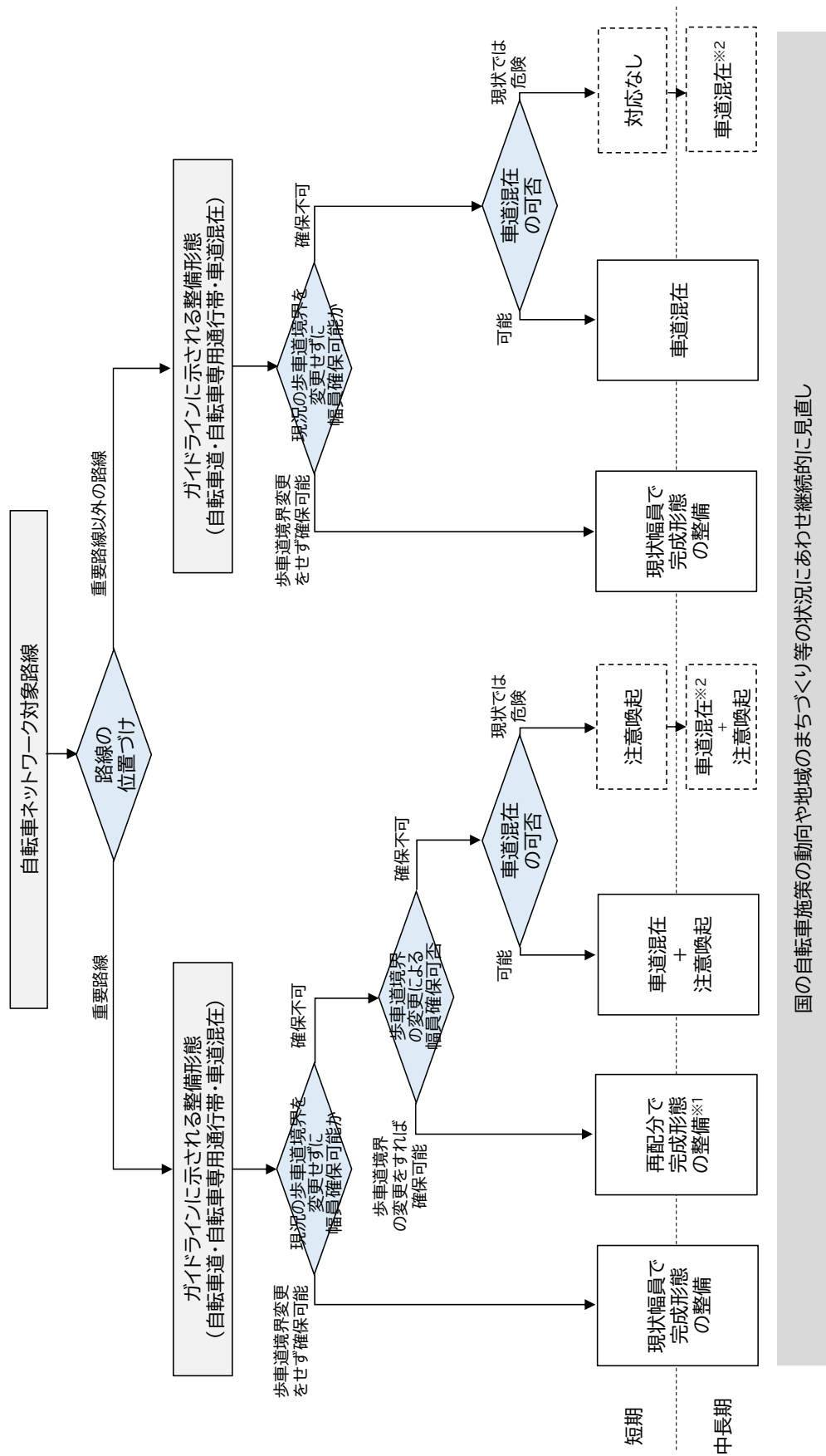
自転車ネットワーク対象路線の整備形態の考え方を以下に示します。

- ・安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン（H28）や道路構造令（H31.4改正）に基づいた整備形態とすることを基本とします。
- ・重要路線では、多様な利用者の利用しやすさを考慮し、可能な路線については車道外空間の活用や双方向通行を検討します。
- ・現状の道路幅員で整備できない場合は、暫定的に車道混在等の適用を検討します。（将来的に完成形態を目指します）
- ・整備形態については、国の自転車施策の動向や地域のまちづくり等の状況にあわせ、継続的に見直しを行います。

	A：自動車の速度が高い道路	B：A,C以外の道路	C：自動車の速度が低く、 自動車交通量が少ない道路
分離方法	構造的な分離	視覚的な分離	混在
選定基準	速度50 km/h超 (設計速度60 km/h以上)	A,C以外	速度が40km/h以下、かつ 自動車交通量が4,000台以下
整備形態	自転車道	自転車専用通行帯	車道混在
整備形態 イメージ	 歩道 自転車道 [一方通行] [双方向通行]	 歩道 自転車専用通行帯 車道	 歩道 車道 [路肩・停車帯内の対策] [車線内の対策（歩道側）] [車線内の対策（歩道なし）]
整備事例	 [一方通行] [双方向通行]		 [路肩・停車帯内の対策] [車線内の対策（歩道側）] [車線内の対策（歩道なし）]

※分離の必要性については、各地域において、交通状況等に応じて検討することが可能
出典：国土交通省

図 6-3 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン（H28）に示される整備形態



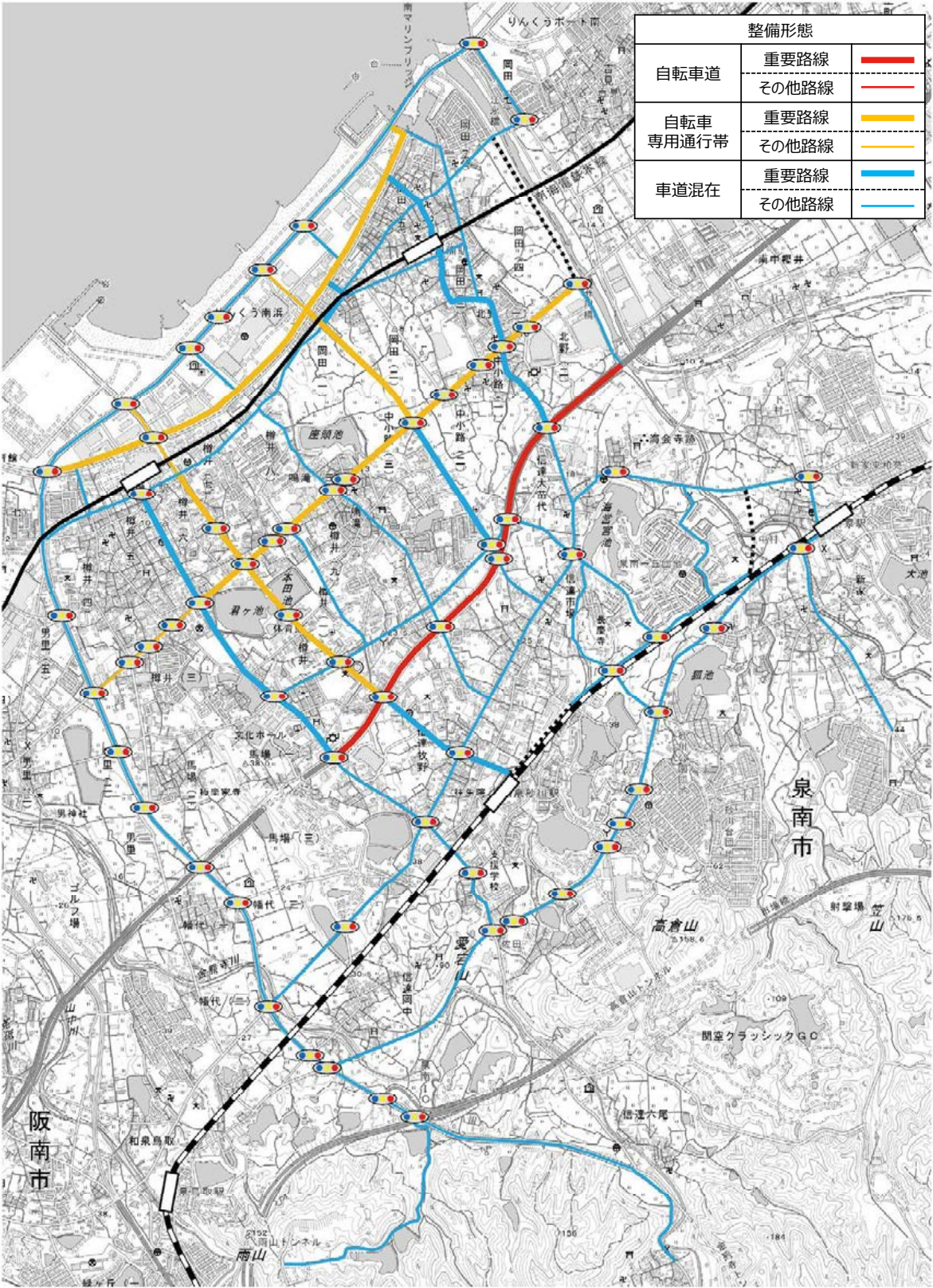
国の自転車施策の動向や地域のまちづくり等の状況にあわせ継続的に見直し

※ 1 各路線の利用状況を踏まえ、歩道等に必要な機能が不足、利便性が低下するような再配分は行わない
※ 2 利用状況や安全性を考慮して検討

図 6-4 整備形態の判定フロー

（2）対象路線の整備形態

前項の考え方に基づいた、自転車ネットワーク路線の整備形態を以下に示します。



※単路部の幅員を例に規定の幅を確保可能か判定した結果であり、実際の整備に当たっては、前項までの考え方をベースに、管理者が交差点部の処理や交通実態に対する適合性も踏まえて判断し実施するものとします。
※黒破線は、計画・整備検討中の路線であり、検討状況を踏まえ、自転車空間の確保について調整します。

図 6-5 自転車ネットワーク路線の整備形態（中長期）

6-4 各施策の内容

（1）施策 1 誰にでも使いやすい軸づくり

取組	重要路線におけるモデル整備の推進
ねらい	・自転車への愛着や意識を高め、広い世代が自転車を上手に使える状況を作っていく機運を高める必要があります。 ・まず、モデルとして重要路線において正しく使いやすい環境づくりを進める必要があります。
内容	・歩道空間も活用した、使いやすい走行空間整備を検討します。 ・双方向通行も考慮し、利用者の目線で使いやすい空間となるように検討します。 ▼双方向の自転車道の整備の例 ○相模原市 国道 16 号相模原駅周辺地区 出典：国土交通省相武国道事務所 HP ○名古屋市 国道 19 号桜通り 出典：国土交通省名古屋国道事務所 HP ▼走行空間を使いやすく工夫・調整している例 ○名古屋市 国道 19 号伏見通り 【現況】 自転車通行空間は、交差点手前で歩道内へ誘導。（防壁あり） 【計画案】 自転車道として、交差点部も歩道との空間を明確に分離し歩行者の安全性の向上を図る。 歩行者は、自転車通行空間（自転車道）を横断。 交差点手前に緩和曲線（R=10m以上）を設ける。 出典：国土交通省名古屋国道事務所 HP

取組	モデル整備を活用した正しい利用啓発
ねらい	・走行空間整備をうまく活用し、正しく自転車を使っていけるようにするための意識・気運の醸成が必要です。 ・走行空間整備と併せて、利用者への周知・啓発を図っていくことが求められます。
内容	・整備、共用のタイミングと連動させ、正しい利用の街頭指導や情報発信、キャンペーン等のイベントを計画します。 ・また、整備後の利用状況を把握し、効果を発信していくことも検討します。 ▼自転車レーン設置にあわせた周知イベントの例  出典：国土交通省 HP

（２）施策２ 自転車利用における安全の確保

取組	自転車利用経路上の危険箇所の点検、対策の推進
ねらい	・幅広い世代の移動手段や健康づくり、観光・周遊のツールとして有効に自転車を活用していくため、利用時の安全確保が必要です。
内容	・警察や各道路管理者、学校、教育委員会等により、自転車の視点も踏まえた通学路交通安全プログラムの充実を推進していきます。 ・危険箇所の把握にあわせて、利用実態や関係者意見等を踏まえた、ハード・ソフト対策を引き続き実施します。 ▼道路の危険箇所の対策（ゾーン 30） 

取組	交通安全教室の実施・拡大
ねらい	・子ども、高齢者等も含め幅広い世代が安全に自転車を使えるようにするため、年齢の段階にあわせ意識向上を図っていくことが必要です。
内容	・市内の幼稚園や保育園、小中学校において、発達段階に応じた自転車交通安全教育活動の継続、強化を、学校園や教育委員会、警察と連携して行います。 ・全国交通安全運動の時期に合わせ、高齢者を対象とした交通安全教室の実施を継続します。教習所のコースにおいて実技講習を行う等、講習内容についても工夫をします。 ・小さい頃から交通安全の知識を身に付けて習慣化することにより、児童の自転車事故防止を目的とした、交通安全子供自転車大会へ引き続き参加します。 ・関係機関と連携しながら、自転車交通安全教育の機会づくりを行っていきます。特に、自転車利用を見直すタイミングを意識し、高齢者の自動車免許返納等と組み合わせた教育についても検討します。 ▼小中学校での交通安全教室   ▼高齢者への交通安全教室 

取組	自転車の点検・整備の啓発
ねらい	・ 走行環境の整備や利用の仕方の啓発だけでなく、自転車車両の安全性を確保することも重要です。 ・ 自転車の点検、整備の普及を促していく必要があります。
内容	・ 自転車販売店・整備店と連携した点検イベントを実施します。 ・ 小中学生に対して、交通安全教育の一環として自転車点検の必要性について引き続き周知します。 ▼自転車点検イベント 

取組	ドライバーへの安全啓発の実施
ねらい	・ 自転車を正しく使うためには、自動車ドライバー側の配慮も求められます。ドライバーに対し、自転車への配慮や共存も含めた交通安全全般に関する啓発が必要です。
内容	・ 自動車ドライバーに対し、交通安全についての周知を行います。 ・ 泉南市交通事故をなくす運動推進本部の活動として、街頭キャンペーンにより啓発を行うとともに、交通安全に係る啓発看板等の設置を継続します。 ・ 市内の小学生から交通安全ポスターを募集し、優秀作品を展示します。 ・ また、市内の集客施設や教習所等と連携し、上記のイベント等において、自転車への配慮や共存についての啓発に努めます。 ▼街頭キャンペーン  ▼交通安全ポスター展  ▼啓発看板の設置  ▼啓発品の配布 

取組	ヘルメットの着用・普及促進
ねらい	・幅広い層の利用において、使い方・状況により危険度も高くなります。年代や場面に応じて適切にヘルメットを活用することが必要です。
内容	・ヘルメット普及に向けた広報啓発を実施します。 ・未就学の児童や小中学生、及びその保護者等に対して、交通安全教育の一環としてヘルメット着用の必要性の周知を継続します。また、自転車通学をする中学生に対しては、ヘルメットの着用を義務とし、引き続き指導を継続します。 ▼ヘルメットを着用して通学する中学生の様子  ▼ヘルメット着用促進ポスター  出典：大阪府 HP

（3）施策3 賢く自転車を利用する習慣・文化づくり

取組	自転車のメリット、効果等の周知啓発
ねらい	・自転車に愛着を持ち賢く利用してもらうため、自転車の機能、自転車のメリット・良さについて、浸透させていくことが必要です。
内容	・国土交通省が実施する「自転車通勤企業」宣言プロジェクトや広報誌等の既存の取組・媒体を活用し、周知を図ります。 ▼自転車通勤の促進ポスター  出典：国土交通省

取組	高齢者にも使いやすい自転車等の普及促進
ねらい	・年齢が高くなっても、継続的に、安全に自転車を使いやすい状況を作っていくため、使いやすい自転車の普及も必要です。

	・関係機関と連携しながら、高齢者にも使いやすい自転車等についての情報を提供します。
--	---

▼高齢者に使いやすい自転車等の例

電動アシスト自転車の代表例

				
メーカー	ヤマハ発動機	パナソニックサイクルテック	プリチストンサイクル	豊田TRIKE
乗車定員	1名	1名	1名	1名
運転免許	不要	不要	不要	不要
ヘルメット着用	推奨 (一部自治体では義務)	推奨 (一部自治体では義務)	推奨 (一部自治体では義務)	推奨 (一部自治体では義務)
アシスト上限/ 最高速度	アシスト上限速度 16km/h	アシスト上限速度 18km/h	アシスト上限速度 16km/h	アシスト上限速度 24km/h
一充電 走行距離	60～77km	56～93km	51～70km	55～60km
価格	210,600円(税込)	210,600円(税込)	211,464円(税込)	432,000円(税込)

電動車いす等の代表例

				
メーカー	トヨタ	WHILL	スズキ	Luup等
乗車定員	1名	1名	1名	1名
運転免許	未販売	不要	不要	必要
ヘルメット着用	未販売	不要	不要	必要
アシスト上限/ 最高速度	最高速度 2,4,6,10 km/h(切り替え可)	最高速度6km/h	最高速度 前進6km/h 後進2km/h	最高速度 20km/h程度
一充電 走行距離	約14km	16km	31km	約40km
価格	未販売 (2020年発売予定)	450,000円 (消費税不要)	368,000円 (消費税不要)	現在は公道でも シェアリングサービスも 行われている

出典：経済産業省 HP

※道路交通法上の区分
アシスト比率の基準に適合する電動アシスト自転車：自転車
歩行領域 EV・電動車椅子・セニアカー：歩行者
電動キックボード：原動機付自転車（要免許、車道通行）

取組	自転車損害賠償責任保険の加入促進
ねらい	・大阪府条例で義務化されたものの、市民アンケート調査では保険の加入が十分意識されていません。 ・安心して賢く使うための仕組みとして、保険の浸透が必要です。
内容	・関係機関と連携しつつ、既存媒体やチラシ、ポスター等による広報、情報発信を実施します。 ・小中学生とその保護者等に対して、交通安全教育の一環として、保険加入の必要性の周知を継続します。 ▼自転車損害賠償責任保険の加入促進ポスター  大阪府自転車条例ポスターの概要: 大阪府の安全で適正な自転車の利用を促進するための条例（平成28年4月1日施行）の4本柱が紹介されています。1. 自転車保険の加入義務化（平成28年7月1日施行）、2. 交通安全教育の充実、3. 自転車の安全利用、4. 交通ルール・マナーの向上。キャラクター「もぐやん」が自転車に乗っています。 出典：大阪府 HP ▼自転車保険に関するリーフレット  大阪府では自転車保険に加入しなければなりません。大阪府自転車条例により、自転車利用者は自転車保険の加入が義務化されています。もしも、自転車事故で加害者になったら、高額賠償事例として、賠償額9,521万円（神戸地裁 平成25年7月判決）の事例が紹介されています。男子小学生が夜間、自転車で帰宅途中に、歩行中の女性と正面衝突。女性は頭蓋骨折等で意識が戻らず、監督責任を問われた母親に賠償命令。保険の加入確認にご協力も!!! 画面へ 詳しくはこちらをクリック → おおさか自転車協けん 大阪府 大阪府自転車条例問い合わせ 大阪府自転車条例総合窓口 電話番号06(6944)6736 出典：大阪府 HP

（４）施策４ 利用環境確保の拡大

取組	重要路線以外における自転車通行環境の整備の推進
ねらい	・ 広い世代が自転車を使いやすい環境を確保していくことが必要です。 ・ 重要路線に続き、整備を進めてネットワークを形成していきます。
内容	・ 幅員の制約や路線の特性に合わせて、関係機関と調整しながら、矢羽根やピクトグラムによる整備を実施します。 ▼車道内の幅員調整による通行環境の整備例 整備前写真  整備後写真  出典：国土交通省横浜国道事務所ＨＰ ▼幅員が狭い道路におけるピクトグラムの設置例   出典：金沢市ＨＰ

取組	シェアサイクル等の導入検討
ねらい	・現状、観光目的の来訪が臨海部に偏っており、また、自転車を持っていないことが移動制約の理由にもなっています。様々な目的の利用者が使いやすく、自転車を持たない住民でも、ちょっとしたおでかけ等がよりしやすい環境をつくっていく必要があります。
内容	・周辺の市町村・地域での取組や事業者等と連携し、シェアサイクル等の導入、活用可能性を検討します。 ▼泉南市観光協会のレンタサイクル

取組	市営駐輪場における運営手法の見直しと放置自転車対策
ねらい	・現在の市営駐輪場は停めにくい状況となっています。鉄道へのアクセス・接続を強化し、動きやすいまちにしていいため、駐輪環境、駐輪場運営の持続性を改善していくことが必要です。 ・駐輪すべき場所以外に駐輪された自転車に対して、警告や移動、撤去を行うことで、利用者に対して駐輪マナー向上を呼び掛けることが必要です。
内容	・適切利用、運用を図るため、駅前での適切な量の駐輪スペースの確保、再整備・民営化等を進めます。 ・駐輪禁止区域内に放置された自転車については、引き続き適切に処理します。 ▼泉南市営駐輪場  

（５）施策５ 自転車による健康・運動習慣の創出

取組	健康サイクリングの周知啓発
ねらい	・ 健康寿命の拡大、成人病等の予防のため、効果の高い自転車を活用した日常的な運動習慣を醸成していくことが必要です。
内容	・ 健康教室や健康相談等を通じて身体を動かすことの大切さ、楽しさを普及・啓発するとともに、自転車を活用した健康づくりについての情報発信を検討します。 ▼自転車の健康効果の周知の例  出典：自転車普及協会

取組	スポーツサイクルの体験・普及促進
ねらい	・ハードルとなる、運動に適した自転車の準備等に対して、購入等のきっかけ、後押しとなるように、体験機会等が必要です。
内容	・スポーツサイクルの普及を促進するため、関係機関と連携しながら情報提供します。 ▼スポーツサイクルの利用イメージ  出典：国土交通省 HP

取組	自転車による健康づくり拠点の検討
ねらい	・ 自転車を活用した健康づくりを見える化し、取組を浸透させていく必要があります。 ・ あわせて、活動や情報の拠点づくりが必要です。
内容	・ SENNAN LONG PARK（泉南りんくう公園）等と連携し、健康アクティビティの実施や情報の拠点づくりを検討します。 ▼泉南りんくう公園での健康アクティビティの実施の様子 SENNAN LONG PARK 泉南りんくう公園  提供：大和リース株式会社

（6）施策 6 自転車による周遊環境・魅力向上

取組	自転車を活用した地域ブランディング、モデルルート等の設定
ねらい	・臨海部への来訪者等に対し、既設の魅力的な花等、その他のスポットへ回遊を促していくことが必要です。 ・あわせて、回遊を促すための魅力づくり、情報発信も必要です。
内容	・臨海部の来訪者に対して、観光マップ等を活用し、自転車で山側まで足を延ばしてもらうモデルルートの検討・発信を行います。 ▼自然・花を活かした周遊のイメージ   提供：大和リース株式会社 海側から山側へ 

取組	地域資源を活かしたイベント等の開催
ねらい	・回遊を促すため、魅力・ルートづくりの検討と併せて、体験を促す機会の創出を行います。
内容	・地元店舗・観光施設等と連携したツアー等のイベント、スタンプラリーを検討、実施します。 ▼地域の魅力を活かしたイベントの実施例   出典：一般社団法人 KIX 泉州ツーリズムビューロー

取組	泉州サイクルルートとの連動																																																																																																		
ねらい	・ 泉南市単独で広域のサイクリング客の集客は難しい状況となっています。 ・ 既存のサイクルルートと連動し、取組の魅力を高めるとともに、サイクリング客の立ち寄り等を促すための仕掛けが必要です。																																																																																																		
内容	・ 泉南市の既往の観光資源・拠点等に、立ち寄りや休憩等の拠点機能を付与し、サイクルステーションとしての設定を検討します。 ・ K I X 泉州ツーリズムビューローと連携し、夕日や SENNAN LONG PARK（泉南りんくう公園）の宿泊機能等の資源を活かした方策を検討します。 ▼泉州サイクルルート  出典：大阪泉州観光ガイド HP ▼サイクルステーションの設置状況 <table><tr><th>【サイクルステーション】</th><th>市町村名</th><th>施設名</th><th>電話番号</th><th>営業時間</th><th>定休日・備考</th><th>番号</th></tr><tr><td rowspan="15"> 泉州 サイクル ステーション サイクリストの方々に、気軽に立ち寄ってもらえるサイクルステーションを、泉州地域に設置しています。 サイクルステーションにはサイクルラックを設置するとともに、サイクリストが安心して走行できるよう、自転車のメンテナンスに使用する工具や空気入れも配置しています。また、トイレの利用も可能です。 この「のほり」が目標です！ </td><td>堺市</td><td>ファミリーマート堺出島南店</td><td>072-280-0090</td><td>24時間</td><td>無休</td><td>H-1</td></tr><tr><td>堺市</td><td>ファミリーマート堺上町店</td><td>072-276-6077</td><td>24時間</td><td>無休</td><td>I-2</td></tr><tr><td>高石市</td><td>ファミリーマート高石流石店</td><td>072-266-4771</td><td>24時間</td><td>無休</td><td>I-3</td></tr><tr><td>高石市</td><td>道の駅 いずみ山受の里</td><td>0725-62-3888</td><td>9:00～17:00</td><td>無休（年末年始除く）、トイレ24時間利用可</td><td>H-2</td></tr><tr><td>泉大津市</td><td>ファミリーマート泉大津南店</td><td>0725-23-5191</td><td>24時間</td><td>無休</td><td>G-3</td></tr><tr><td>忠岡町</td><td>ファミリーマート小湊南店</td><td>0726-20-6348</td><td>24時間</td><td>無休</td><td>G-3</td></tr><tr><td>岸和田市</td><td>サイクルピア岸和田B&M</td><td>072-457-7770</td><td>無休（年末年始除く）</td><td>火曜日 10:00～18:00</td><td>H-5</td></tr><tr><td>岸和田市</td><td>道の駅 岸和田</td><td>072-450-4315</td><td>24時間</td><td>無休</td><td>F-4</td></tr><tr><td>岸和田市</td><td>道の駅 岸和田</td><td>072-453-0391</td><td>9:00～22:00</td><td>第4水曜日（休館日）（休館日17:30）、年末年始</td><td>F-5</td></tr><tr><td>岸和田市</td><td>ファミリーマート岸和田上野店</td><td>072-450-0034</td><td>24時間</td><td>無休</td><td>F-6</td></tr><tr><td>岸和田市</td><td>ファミリーマート岸和田南店</td><td>072-450-0034</td><td>24時間</td><td>無休</td><td>F-6</td></tr><tr><td>岸和田市</td><td>道の駅 岸和田</td><td>072-450-0034</td><td>24時間</td><td>無休</td><td>F-6</td></tr><tr><td>岸和田市</td><td>道の駅 岸和田</td><td>072-450-0034</td><td>24時間</td><td>無休</td><td>F-6</td></tr><tr><td>岸和田市</td><td>道の駅 岸和田</td><td>072-450-0034</td><td>24時間</td><td>無休</td><td>F-6</td></tr><tr><td>岸和田市</td><td>道の駅 岸和田</td><td>072-450-0034</td><td>24時間</td><td>無休</td><td>F-6</td></tr></table> ※平日15:00～19:00・土日祝10:00～19:00 出典：大阪泉州観光ガイド HP	【サイクルステーション】	市町村名	施設名	電話番号	営業時間	定休日・備考	番号	泉州 サイクル ステーション サイクリストの方々に、気軽に立ち寄ってもらえるサイクルステーションを、泉州地域に設置しています。 サイクルステーションにはサイクルラックを設置するとともに、サイクリストが安心して走行できるよう、自転車のメンテナンスに使用する工具や空気入れも配置しています。また、トイレの利用も可能です。 この「のほり」が目標です！	堺市	ファミリーマート堺出島南店	072-280-0090	24時間	無休	H-1	堺市	ファミリーマート堺上町店	072-276-6077	24時間	無休	I-2	高石市	ファミリーマート高石流石店	072-266-4771	24時間	無休	I-3	高石市	道の駅 いずみ山受の里	0725-62-3888	9:00～17:00	無休（年末年始除く）、トイレ24時間利用可	H-2	泉大津市	ファミリーマート泉大津南店	0725-23-5191	24時間	無休	G-3	忠岡町	ファミリーマート小湊南店	0726-20-6348	24時間	無休	G-3	岸和田市	サイクルピア岸和田B&M	072-457-7770	無休（年末年始除く）	火曜日 10:00～18:00	H-5	岸和田市	道の駅 岸和田	072-450-4315	24時間	無休	F-4	岸和田市	道の駅 岸和田	072-453-0391	9:00～22:00	第4水曜日（休館日）（休館日17:30）、年末年始	F-5	岸和田市	ファミリーマート岸和田上野店	072-450-0034	24時間	無休	F-6	岸和田市	ファミリーマート岸和田南店	072-450-0034	24時間	無休	F-6	岸和田市	道の駅 岸和田	072-450-0034	24時間	無休	F-6	岸和田市	道の駅 岸和田	072-450-0034	24時間	無休	F-6	岸和田市	道の駅 岸和田	072-450-0034	24時間	無休	F-6	岸和田市	道の駅 岸和田	072-450-0034	24時間	無休	F-6
【サイクルステーション】	市町村名	施設名	電話番号	営業時間	定休日・備考	番号																																																																																													
泉州 サイクル ステーション サイクリストの方々に、気軽に立ち寄ってもらえるサイクルステーションを、泉州地域に設置しています。 サイクルステーションにはサイクルラックを設置するとともに、サイクリストが安心して走行できるよう、自転車のメンテナンスに使用する工具や空気入れも配置しています。また、トイレの利用も可能です。 この「のほり」が目標です！	堺市	ファミリーマート堺出島南店	072-280-0090	24時間	無休	H-1																																																																																													
	堺市	ファミリーマート堺上町店	072-276-6077	24時間	無休	I-2																																																																																													
	高石市	ファミリーマート高石流石店	072-266-4771	24時間	無休	I-3																																																																																													
	高石市	道の駅 いずみ山受の里	0725-62-3888	9:00～17:00	無休（年末年始除く）、トイレ24時間利用可	H-2																																																																																													
	泉大津市	ファミリーマート泉大津南店	0725-23-5191	24時間	無休	G-3																																																																																													
	忠岡町	ファミリーマート小湊南店	0726-20-6348	24時間	無休	G-3																																																																																													
	岸和田市	サイクルピア岸和田B&M	072-457-7770	無休（年末年始除く）	火曜日 10:00～18:00	H-5																																																																																													
	岸和田市	道の駅 岸和田	072-450-4315	24時間	無休	F-4																																																																																													
	岸和田市	道の駅 岸和田	072-453-0391	9:00～22:00	第4水曜日（休館日）（休館日17:30）、年末年始	F-5																																																																																													
	岸和田市	ファミリーマート岸和田上野店	072-450-0034	24時間	無休	F-6																																																																																													
	岸和田市	ファミリーマート岸和田南店	072-450-0034	24時間	無休	F-6																																																																																													
	岸和田市	道の駅 岸和田	072-450-0034	24時間	無休	F-6																																																																																													
	岸和田市	道の駅 岸和田	072-450-0034	24時間	無休	F-6																																																																																													
	岸和田市	道の駅 岸和田	072-450-0034	24時間	無休	F-6																																																																																													
	岸和田市	道の駅 岸和田	072-450-0034	24時間	無休	F-6																																																																																													

7 取組の進め方

7-1 計画の進捗管理・評価

本計画は毎年度、施策の進捗状況や目標の達成状況等について評価・検証した上で、課題となっている事項を整理し、施策内容や実施方法の改善等についてフォローアップします。

進捗管理については、計画を策定（Plan）した後、施策・取組を実施（Do）し、進捗や効果の評価・検証（Check）した上で、評価に基づき見直しや改善（Action）を行い、計画に反映する PDCA に則った進捗管理を実施します。

表 7-1 進捗管理の方法

項目	進捗管理の方法
目標年度	令和 7 年度（2025 年度）
評価期間	毎年度
評価方法	目標毎に指標を設定し、達成状況进行评估・検証



図 7-1 進捗管理のイメージ（基本的な PDCA サイクル）

7-2 計画の指標

目標実現を確実に進めていくため、進捗や効果を評価・検証するための指標・目標値を以下のように設定します。

表 7-2 計画の指標

施策	指標	データ取得方法	現状		目標値
施策1：誰にでも使い やすい軸づくり	市民の自転車利用率	市民アンケート調査	37%	R2	増加 
	重要路線における自転車通行空間の整備	整備実績	0 路線	R2	2 路線以上
	自転車交通量（市場稲荷交差点）	自転車交通量調査	242 台／日	R2	増加 
	通行方法の順守率（対象箇所通行量／自転車交通量）	自転車交通量調査	—	—	増加 
施策2：自転車利用に おける安全の確保	自転車事故件数	関係部局へデータ提供を依頼	49 件／年	R1	減少 
	交通安全教室の実施回数	関係部局へデータ提供を依頼	18 回	R1	維持 
施策3：賢く自転車を 利用する習慣・文化づ くり	自転車に対して愛着を持つ人の割合	市民アンケート調査	34%	R2	増加 
	交通ルールの順守率	市民アンケート調査	原則車道通行 29% 車道左側通行 41% 歩道歩行者優先 36%	R2	増加 
施策4：利用環境確保 の拡大	重要路線以外における自転車通行空間の整備	整備実績	0 路線	R2	1 路線以上着手
施策5：自転車による 健康・運動習慣の創出	運動習慣を持つ人の割合	関係部局へデータ提供を依頼	男性 47.2% 女性 34.5%	H26	増加 
	外出を控える人の割合	関係部局へデータ提供を依頼	33.7%	H28	減少 
施策6：自転車による 周遊環境・魅力向上	観光施設への入込客数	関係部局へデータ提供を依頼	—	—	増加 
	内陸部における観光施設・スポットの認知度	関係部局へデータ提供を依頼	街道 43.5% 神社・寺 29.9% 花 38.0%	H27	増加 
	サイクルステーション・拠点の設置箇所数	設置実績	1 箇所	R2	増加 